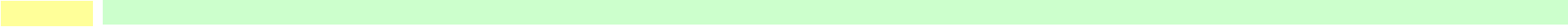


女性と仕事調査 集計結果



2013年8月

株式会社リビングくらしHOW研究所

調査目的

無職・有職を問わず、女性にとっての仕事、働くことについての考え方、及び安倍内閣の女性の活躍推進政策についての意見を調査

調査期間

2013年7月16日～28日

調査方法

リビング新聞、シティリビング、あんふあんでのWebアンケート調査

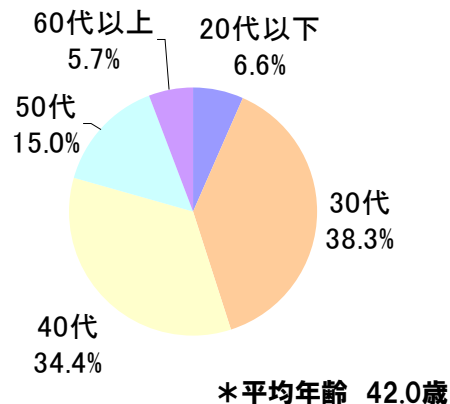
調査対象者

全国の女性
集計数:1351人

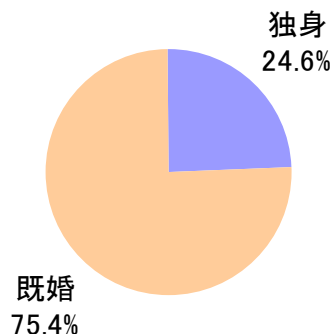
※ 当レポートの数値は、小数点以下2位を四捨五入のため、合計が100%にならない場合があります。

・調査対象者プロフィール	・・・04
・経済的な不安がないとしたら、働き続けたいか？ その理由	・・・05～08
・安倍内閣の「経済活性化のために女性を活用する」方針について	・・・09
・「育児休業3年」の実現について	・・・10
・出産するとして、3年の育休取得を選択するか？	・・・11～12
・「5年で保育園の待機児童をゼロにする」について	・・・13
・「子育て後の再就職・起業支援」について	・・・14
・「上場企業で役員に1人は女性を登用」について	・・・15
・「子供が3歳になるまでは、母親が常に側にいるべき」という説について	・・・16
・「女性が社会で活躍するのに必要だと思うこと」フリーアンサーから抜粋	・・・17
・【企業などの組織で働いている人】のプロフィール	・・・18
・今の職場で昇進・昇格したいと思うか？ その理由	・・・19～20
・「上場企業で役員に1人は女性を登用」についてどう思うか？	・・・21
・自分自身は役員になりたいと思うか	・・・22
・今の職場は女性が妊娠・出産や育児休暇を取得しやすいと思うか？	・・・23
・今の職場は男性が子供のために早く帰ったり育児休暇を取得したりしやすいと思うか？	・・・24
・現在、働いている理由	・・・25
・現在結婚していて働いている人へ。配偶者の扶養家族か？働き方と扶養家族であることについてどう思うか	・・・26
・【現在、働いていない人】のプロフィール	・・・27
・「子育て後の再就職・起業支援」について	・・・28
・起業や創業の資金援助やアドバイスなどのサポートについて	・・・29
・現在、働いていない理由	・・・30
・今後、働くことを考えているか	・・・31
・いずれ働きたい人は、どのくらい後に働きたいか	・・・31
・いずれ働きたい人の、実際に仕事を始めたいタイミング	・・・32
・すぐに、またはいずれ働きたい人の希望する働き方	・・・33
・すぐに、またはいずれ働きたい人が再就職するにあたって、気になること	・・・34

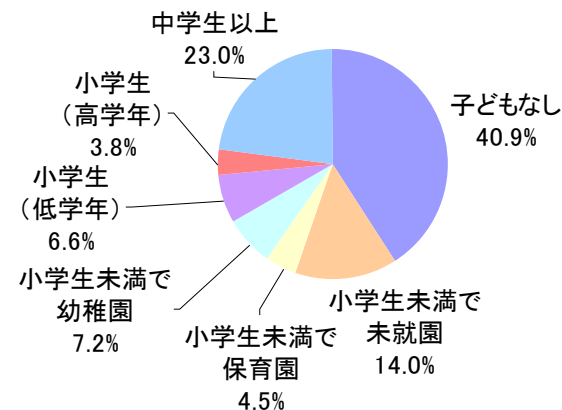
年齢 (n=1351)



未婚既婚 (n=1351)

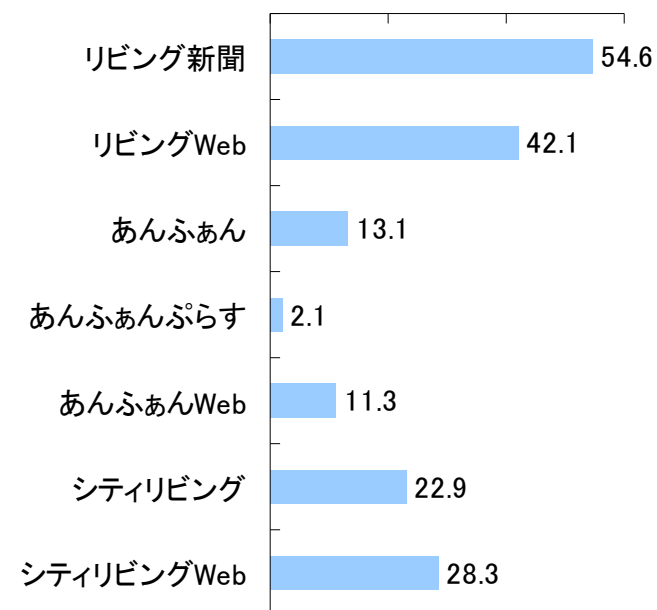


子どもの有無 & 末子学齢 (n=1333)

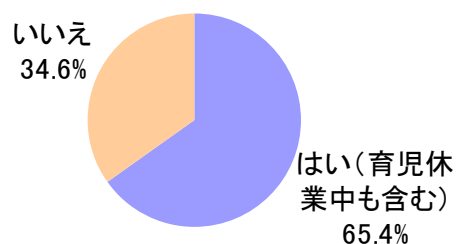


読んでいる媒体 (n=1260・複数回答)

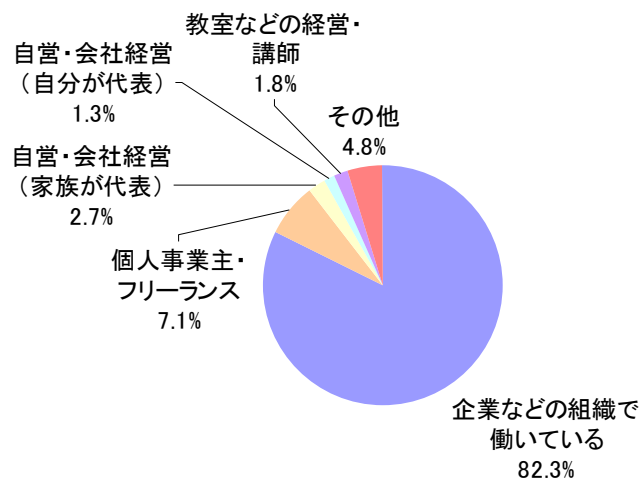
(%) 0 20 40 60



仕事をしているか (n=1351)

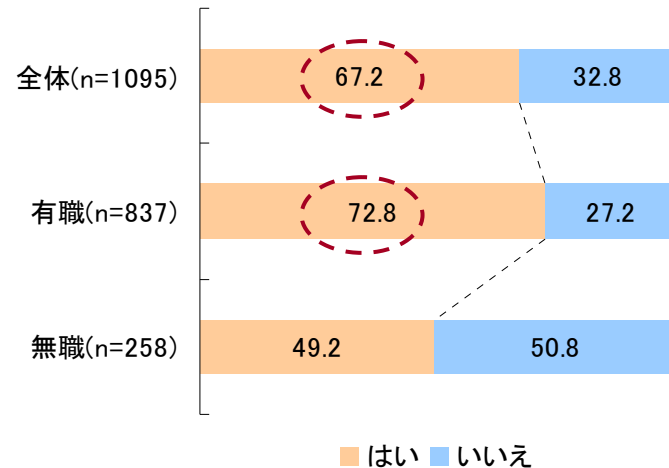


有職者の働き方 (n=819)



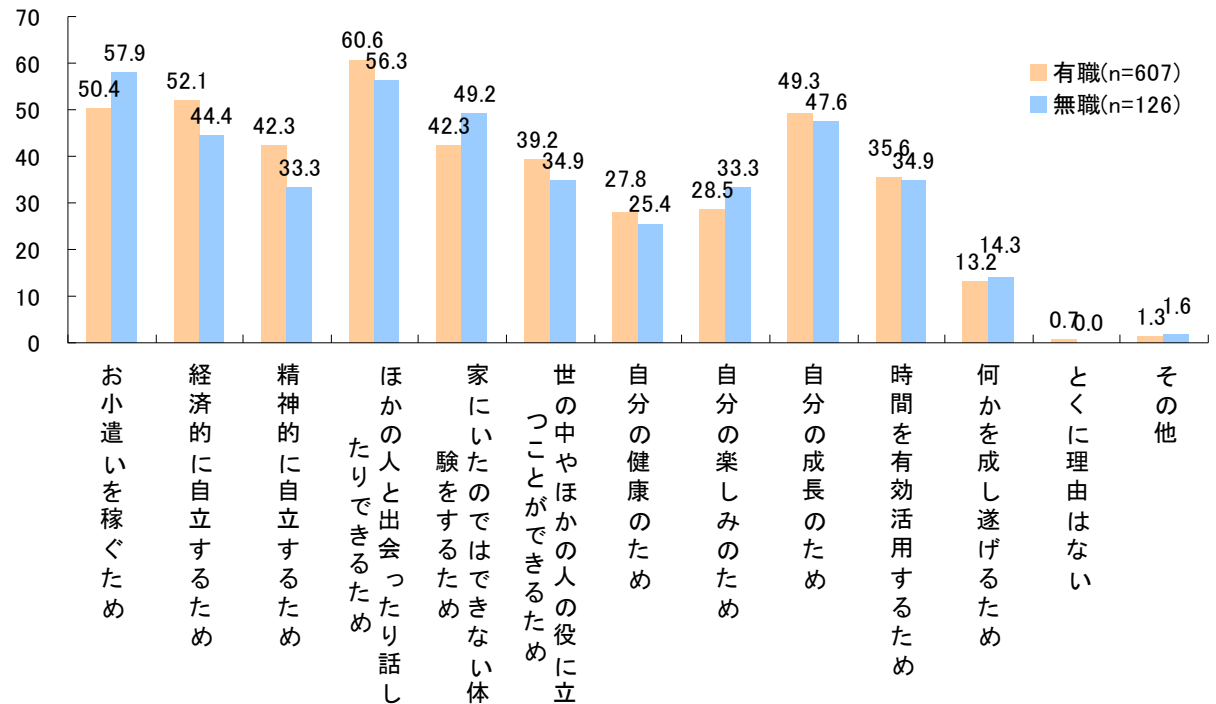
経済的な不安がないとしたら働きたいか？／「働きたい」「働き続けたい」人の理由

もし「現在も将来も経済的な不安がない」としたら
働きたい、働き続けたい？



「働きたい」「働き続けたい」人の理由(複数回答)

(数字はすべて%)



■働きたい/働き続けたい人は、67.2%

お金のため、生活のため以外で、働くことに何を求めるかを探るため、現在も将来においても経済的な不安がないと仮定した場合、「働きたい」「働き続けたい」と思うか、またその理由を聞いた。

「働きたい、働き続けたい」と答えた人は7割近く。現在、有職の人では7割を超えた。

その理由は、有職者の1位は「ほかの人と出会ったり話したりできるため」。無職者の1位は「お小遣いを稼ぐため」。

末子の学齢別クロス集計で見ると(次ページ)、有職者で末子が小学生未満に「ほかの人と出会ったり話したりできるため」を挙げる人が多い。社会との繋がりを求めたり、閉塞感を打破したいと思っているためかもしれない。

(各項目の下段数字は%)

無職

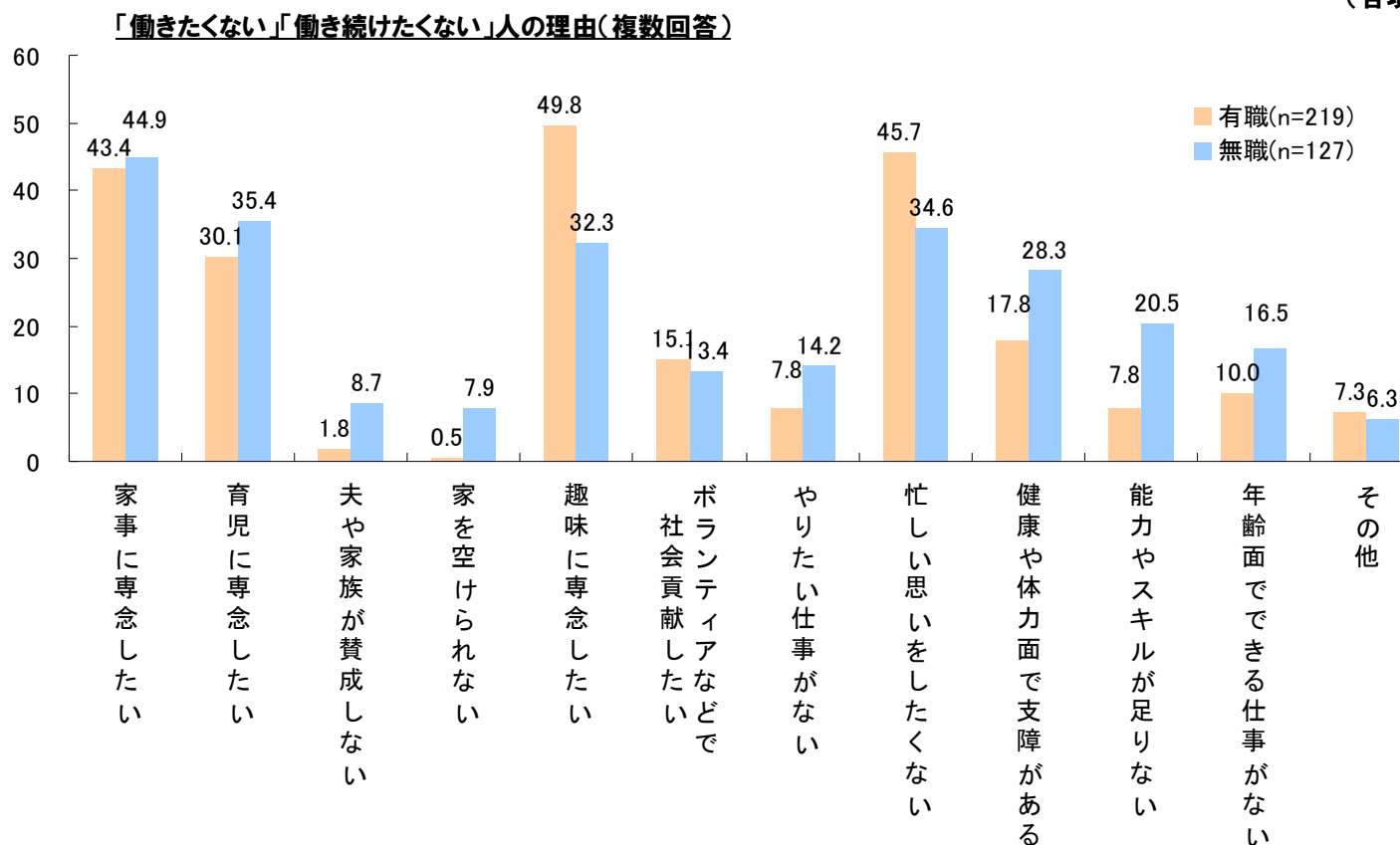
		全体	お小遣いを 稼ぐため	経済的に自 立するため	精神的に自 立するため	ほかの人と 出会ったり 話したりで きるため	家にいたの ではできな い体験をす るため	世の中やほ かの人の役 に立つこと ができるた め	自分の健康 のため	自分の楽し みのため	自分の成長 のため	時間を有効 活用するた め	何かを成し 遂げるため	とくに理由 はない	その他
合計		607 100.0	306 50.4	316 52.1	257 42.3	368 60.6	257 42.3	238 39.2	169 27.8	173 28.5	299 49.3	216 35.6	80 13.2	4 0.7	1.
末子学齢 と子ども の有無	子どもなし	297 100.0	156 52.5	175 58.9	138 46.5	174 58.6	118 39.7	103 34.7	84 28.3	76 25.6	141 47.5	97 32.7	36 12.1	3 1.0	2.
	小学生未満で未就園	43 100.0	14 32.6	23 53.5	20 46.5	29 67.4	14 32.6	20 46.5	7 16.3	14 32.6	22 51.2	12 27.9	7 16.3	0 0.0	2.
	小学生未満で保育園	44 100.0	21 47.7	21 47.7	21 47.7	32 72.7	21 47.7	20 45.5	10 22.7	16 36.4	24 54.5	15 34.1	7 15.9	0 0.0	0.
	小学生未満で幼稚園	25 100.0	18 72.0	11 44.0	8 32.0	18 72.0	12 48.0	6 24.0	6 24.0	11 44.0	9 36.0	9 36.0	6 24.0	0 0.0	4.
	小学生（低学年）	47 100.0	23 48.9	23 48.9	17 36.2	31 66.0	24 51.1	17 36.2	11 23.4	11 23.4	23 48.9	16 34.0	8 17.0	1 2.1	0.
	小学生（高学年）	24 100.0	14 58.3	14 58.3	11 45.8	15 62.5	9 37.5	11 45.8	8 33.3	11 45.8	12 50.0	11 45.8	1 4.2	0 0.0	0.
	中学生以上	120 100.0	54 45.0	46 38.3	37 30.8	68 56.7	57 47.5	60 50.0	42 35.0	33 27.5	66 55.0	54 45.0	14 11.7	0 0.0	

		全体	お小遣いを 稼ぐため	経済的に自 立するため	精神的に自 立するため	ほかの人と 出会ったり 話したりで きるため	家にいたの ではできな い体験する ため	世の中やほ かの人の役 に立つこと ができるた め	自分の健康 のため	自分の楽し みのため	自分の成長 のため	時間を有効 活用するた め	何かを成し 遂げるため	とくに理由 はない	その他
	合計	126	73	56	42	71	62	44	32	42	60	44	18	0	
		100.0	57.9	44.4	33.3	56.3	49.2	34.9	25.4	33.3	47.6	34.9	14.3	0.0	1.
末子学齢 と子ども の有無	子どもなし	31	14	16	15	22	18	13	9	8	18	7	4	0	
		100.0	45.2	51.6	48.4	71.0	58.1	41.9	29.0	25.8	58.1	22.6	12.9	0.0	0.
	小学生未満で未就園	47	33	18	16	25	23	13	7	16	22	17	8	0	
		100.0	70.2	38.3	34.0	53.2	48.9	27.7	14.9	34.0	46.8	36.2	17.0	0.0	4.
	小学生未満で保育園	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	
		100.0	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.
	小学生未満で幼稚園	12	6	4	1	7	7	2	1	3	5	4	0	0	
		100.0	50.0	33.3	8.3	58.3	58.3	16.7	8.3	25.0	41.7	33.3	0.0	0.0	0.
	小学生（低学年）	5	3	2	2	3	3	4	2	3	3	4	1	0	
		100.0	60.0	40.0	40.0	60.0	60.0	80.0	40.0	60.0	60.0	80.0	20.0	0.0	0.
小学生（高学年）	5	3	3	2	1	1	1	2	1	1	1	1	0		
	100.0	60.0	60.0	40.0	20.0	20.0	20.0	40.0	20.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.	
中学生以上	24	13	12	6	11	10	11	11	10	10	11	10	4	0	
	100.0	54.2	50.0	25.0	45.8	41.7	45.8	45.8	41.7	45.8	41.7	16.7	0.0		

「働きたくない」「働き続けたくない」人の理由

7

(各項目の下段数字は%)



■ 有職者が経済的不安がなければ働きたくない理由は、働くことで犠牲にしていることを充実させたいから

「働きたくない/働き続けたくない」と答えた人の理由は、有職者が「趣味に専念したい」「忙しい思いをしたくない」「家事に専念したい」と続く。現在、ガマンをしている、犠牲にしていることへの願望か。

無職者の理由は、「家事に専念したい」「育児に専念したい」が上位。

「働きたくない」「働き続けたくない」人の理由(末子の学齢別クロス集計)

8

「働きたくない」「働き続けたくない」人の理由(複数回答)

(各項目の下段数字は%)

有職

		全体	家事に専念 したい	育児に専念 したい	夫や家族が 賛成しない	家を空けら れない	趣味に専念 したい	ボランティ アなどで社 会貢献した い	やりたい仕 事が無い	忙しい思い をしたくない	健康や体力 面で支障が ある	能力やスキ ルが足りない	年齢面でで きる仕事がない	その他
	合計	219	95	66	4	1	109	33	17	100	39	17	22	16
		100.0	43.4	30.1	1.8	0.5	49.8	15.1	7.8	45.7	17.8	7.8	10.0	7.3
末子学齢 と子ども の有無	子どもなし	109	49	22	2	0	52	16	15	50	19	7	9	10
		100.0	45.0	20.2	1.8	0.0	47.7	14.7	13.8	45.9	17.4	6.4	8.3	9.2
	小学生未満で未就園	23	14	19	1	0	8	3	1	10	2	1	1	1
		100.0	60.9	82.6	4.3	0.0	34.8	13.0	4.3	43.5	8.7	4.3	4.3	4.3
	小学生未満で保育園	10	6	9	0	0	4	0	0	4	0	2	1	1
		100.0	60.0	90.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	40.0	0.0	20.0	10.0	10.0
	小学生未満で幼稚園	14	5	7	1	0	10	0	0	6	0	1	0	1
		100.0	35.7	50.0	7.1	0.0	71.4	0.0	0.0	42.9	0.0	7.1	0.0	7.1
	小学生(低学年)	9	4	4	0	0	2	1	0	3	1	0	0	2
		100.0	44.4	44.4	0.0	0.0	22.2	11.1	0.0	33.3	11.1	0.0	0.0	22.2
小学生(高学年)	8	3	2	0	0	0	4	2	0	4	1	1	1	0
		100.0	37.5	25.0	0.0	0.0	50.0	25.0	0.0	50.0	12.5	12.5	12.5	0.0
	中学生以上	44	13	2	0	1	28	10	1	21	15	5	9	1
		100.0	29.5	4.5	0.0	2.3	63.6	22.7	2.3	47.7	34.1	11.4	20.5	2.3

無職

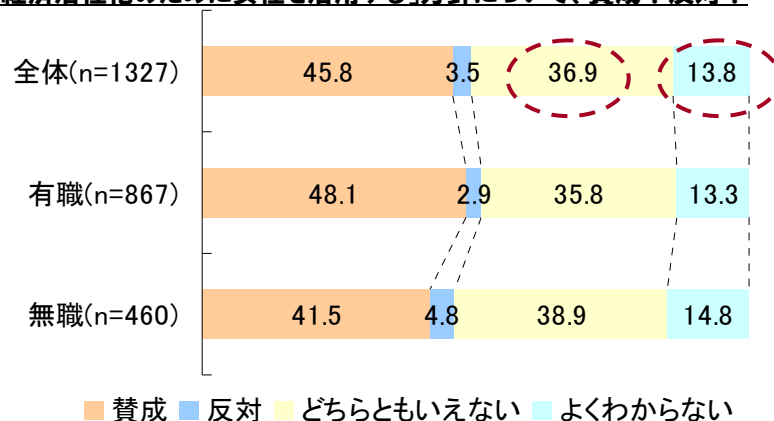
		全体	家事に専念 したい	育児に専念 したい	夫や家族が 賛成しない	家を空けら れない	趣味に専念 したい	ボランティ アなどで社 会貢献した い	やりたい仕 事が無い	忙しい思い をしたくない	健康や体力 面で支障が ある	能力やスキ ルが足りない	年齢面でで きる仕事がない	その他
	合計	127	57	45	11	10	41	17	18	44	36	26	21	8
		100.0	44.9	35.4	8.7	7.9	32.3	13.4	14.2	34.6	28.3	20.5	16.5	6.3
末子学齢 と子ども の有無	子どもなし	29	10	3	4	4	13	4	7	12	9	8	2	2
		100.0	34.5	10.3	13.8	13.8	44.8	13.8	24.1	41.4	31.0	27.6	6.9	6.9
	小学生未満で未就園	23	16	21	2	1	5	3	4	7	2	1	1	1
		100.0	69.6	91.3	8.7	4.3	21.7	13.0	17.4	30.4	8.7	4.3	4.3	4.3
	小学生未満で保育園	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	小学生未満で幼稚園	20	11	14	2	1	6	5	2	6	5	2	0	2
		100.0	55.0	70.0	10.0	5.0	30.0	25.0	10.0	30.0	25.0	10.0	0.0	10.0
	小学生(低学年)	6	3	5	1	0	1	1	0	2	1	0	0	0
		100.0	50.0	83.3	16.7	0.0	16.7	16.7	0.0	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0
小学生(高学年)	3	0	0	0	0	2	1	0	0	1	1	1	0	0
		100.0	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0
	中学生以上	43	16	2	2	2	14	4	4	14	17	14	18	3
		100.0	37.2	4.7	4.7	4.7	32.6	9.3	9.3	32.6	39.5	32.6	41.9	7.0

安倍内閣の「経済活性化のために女性を活用する」方針について

9

「経済活性化のために女性を活用する」方針について、賛成？反対？

(数字はすべて%)



「賛成」45.8%。半数は手放しでは喜べない

「反対」こそ少ないが、約半数が、「どちらともいえない」「わからない」と回答。フリーアンサーで答えてもらったその理由は

- ・働きたいと思う女性が働けるように環境を整えるのは賛成。しかし子育て中の女性も働くのが当たり前という風潮を作るのは反対(38歳/無職)
- ・女性の活躍活用のための男性の意識改革をもっと真剣にすべきです(55歳/有職)
- ・短時間勤務や子育て中などを理由に、非正規雇用で、都合の良いように使われそうな感じがする。政策はあくまでも、机上の空論という気がする(37歳/無職)
- ・政策をかかげても企業の体質が追いつかなければ意味がない。今のところ女性の活用の方はまだまだ限られていると感じる(34歳/有職)

『方針は理想論で、企業体質、社会風土、男性の意識などが追いついていないため、現実的ではない』とする声が多い。

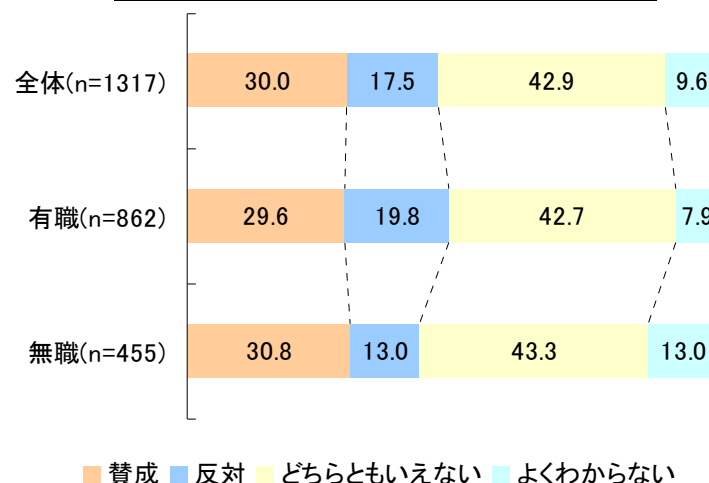
有職						
		全体	賛成	反対	どちらとも いえない	よくわから ない
	合計	867	417	25	310	115
		100.0	48.1	2.9	35.8	13.3
末子学齢 と子ども の有無	子どもなし	426	184	18	161	63
		100.0	43.2	4.2	37.8	14.8
	小学生未満で未就園	68	37	1	24	6
		100.0	54.4	1.5	35.3	8.8
	小学生未満で保育園	56	30	1	17	8
		100.0	53.6	1.8	30.4	14.3
	小学生未満で幼稚園	40	17	0	13	10
		100.0	42.5	0.0	32.5	25.0
	小学生（低学年）	57	36	2	14	5
		100.0	63.2	3.5	24.6	8.8
小学生（高学年）	34	15	0	15	4	
		100.0	44.1	0.0	44.1	11.8
中学生以上	177	92	3	64	18	
		100.0	52.0	1.7	36.2	10.2

無職

		全体	賛成	反対	どちらとも いえない	よくわから ない
	合計	460	191	22	179	68
		100.0	41.5	4.8	38.9	14.8
末子学齢 と子ども の有無	子どもなし	104	38	4	49	13
		100.0	36.5	3.8	47.1	12.5
	小学生未満で未就園	117	46	4	46	21
		100.0	39.3	3.4	39.3	17.9
	小学生未満で保育園	4	1	1	2	0
		100.0	25.0	25.0	50.0	0.0
	小学生未満で幼稚園	56	25	3	19	9
		100.0	44.6	5.4	33.9	16.1
	小学生（低学年）	29	14	2	9	4
		100.0	48.3	6.9	31.0	13.8
小学生（高学年）	17	7	0	8	2	
	100.0	41.2	0.0	47.1	11.8	
中学生以上	126	58	8	43	17	
	100.0	46.0	6.3	34.1	13.5	

＜育児休業3年の実現＞について賛成？反対？

＜育児休業3年の実現＞について賛成？反対？



(数字はすべて%)

■「賛成」は3割。「何ともいえない」が半数以上

育児休業3年の実現について、賛成は3割。「どちらともいえない」「よく分からない」を合わせると52.5%。理由のFAを見ると

- ・企業・職種によってみんながみんな3年育休が取れるとは思えない。
また、現在でも非正規社員は育休が取れないなど正社員との格差がありすぎるので、一律3年とするよりはもっと希望するすべての人が育休を取れる制度を考えて欲しい(34歳/有職)
- ・3年育児休業だけでなく、育児と仕事を無理なく両立できる環境がほしい。短時間労働など融通のきく環境(40歳/有職)
- ・育休取得者存在時の職場内フォロー(現職社員へのしわ寄せ)(43歳/有職)

「賛成」でも実現に懐疑的な声や、選択肢が広がるのはいいが、復帰しやすい職場環境作り、柔軟な働き方の導入が先決、働く側にとっても企業(特に中小企業)にとっても現実的には厳しい、女性の雇用制限やマタハラに繋がるのでは、といった声が多い。

有職

		全体	賛成	反対	どちらともいえない	よくわからない
	合計	862	255	171	368	68
		100.0	29.6	19.8	42.7	7.9
末子学齢と子どもの有無	子どもなし	422	116	82	182	42
		100.0	27.5	19.4	43.1	10.0
	小学生未満で未就園	68	24	14	24	6
		100.0	35.3	20.6	35.3	8.8
	小学生未満で保育園	56	16	15	24	1
		100.0	28.6	26.8	42.9	1.8
	小学生未満で幼稚園	40	17	4	17	2
		100.0	42.5	10.0	42.5	5.0
	小学生(低学年)	57	17	13	22	5
		100.0	29.8	22.8	38.6	8.8
	小学生(高学年)	34	9	7	15	3
		100.0	26.5	20.6	44.1	8.8
	中学生以上	176	54	35	78	9
		100.0	30.7	19.9	44.3	5.1

無職

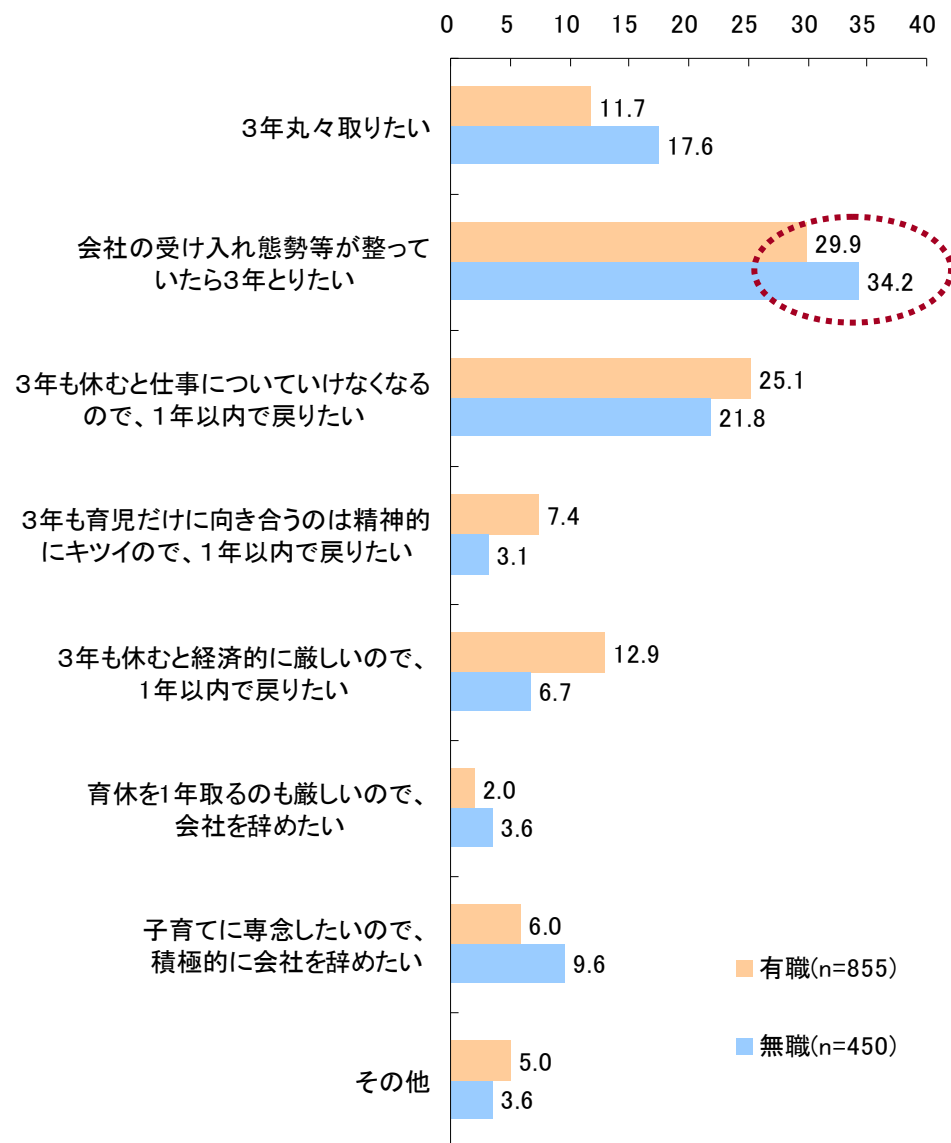
		全体	賛成	反対	どちらともいえない	よくわからない
	合計	455	140	59	197	59
		100.0	30.8	13.0	43.3	13.0
末子学齢と子どもの有無	子どもなし	104	25	19	46	14
		100.0	24.0	18.3	44.2	13.5
	小学生未満で未就園	116	38	14	48	16
		100.0	32.8	12.1	41.4	13.8
	小学生未満で保育園	4	2	0	1	1
		100.0	50.0	0.0	25.0	25.0
	小学生未満で幼稚園	55	22	3	26	4
		100.0	40.0	5.5	47.3	7.3
	小学生(低学年)	28	6	5	15	2
		100.0	21.4	17.9	53.6	7.1
	小学生(高学年)	16	4	1	9	2
		100.0	25.0	6.3	56.3	12.5
	中学生以上	125	43	17	49	16
		100.0	34.4	13.6	39.2	12.8

出産するとして、3年の育休取得を選択するか？

11

(数字はすべて%)

あなたが、これから出産するとします。3年間の育休取得を選択しますか？



■「会社の態勢が整っていたら3年取りたい」が3割

3年間の育休取得の選択について聞くと、「会社の受け入れ態勢が整っていたら3年とりたい」が有職、無職とも3割前後。制度に賛成と回答した人たちの数字とほぼ一致。

1年以内で戻りたい、は有職者では4人に1人。

理想と現実の間で揺れ動く女性たちの気持ちが、垣間見える。

出産するとして、3年の育休取得を選択するか？（末子の学齢別クロス集計）

12

あなたが、これから出産するとします。3年間の育休取得を選択しますか？

（各項目の下段数字は％）

有職

		全体	3年丸々取りたい	会社の受け入れ態勢等が整っていたら3年とりたい	3年も休むと仕事についていけないので、1年以内で戻りたい	3年も育児だけに向かうのは精神的にキツイので、1年以内で戻りたい	3年も休むと経済的に厳しいので、1年以内で戻りたい	育休を1年取るのも厳しいので、会社を辞めたい	子育てに専念したいので、積極的に会社を辞めたい	その他
	合計	855	100	256	215	63	110	17	51	43
		100.0	11.7	29.9	25.1	7.4	12.9	2.0	6.0	5.0
末子学齢と子どもの有無	子どもなし	418	48	116	115	26	52	8	32	21
		100.0	11.5	27.8	27.5	6.2	12.4	1.9	7.7	5.0
	小学生未満で未就園	68	9	19	9	9	10	2	2	8
		100.0	13.2	27.9	13.2	13.2	14.7	2.9	2.9	11.8
	小学生未満で保育園	56	3	14	16	8	12	1	0	2
		100.0	5.4	25.0	28.6	14.3	21.4	1.8	0.0	3.6
	小学生未満で幼稚園	40	6	18	8	3	1	0	2	2
		100.0	15.0	45.0	20.0	7.5	2.5	0.0	5.0	5.0
	小学生（低学年）	57	5	19	13	5	6	1	6	2
		100.0	8.8	33.3	22.8	8.8	10.5	1.8	10.5	3.5
	小学生（高学年）	32	2	8	11	2	5	2	1	1
		100.0	6.3	25.0	34.4	6.3	15.6	6.3	3.1	3.1
	中学生以上	176	25	61	41	9	22	3	8	7
		100.0	14.2	34.7	23.3	5.1	12.5	1.7	4.5	4.0

■働く幼稚園児ママと保育園児ママでは、思いに違いが

子供の学齢別に見ると、幼稚園に通わせながら働いてるママで「3年とりたい」と答える人が45%。

保育園に預けて働くママは、「精神的にキツイので1年以内に戻りたい」「経済的に厳しいので1年以内に戻りたい」が、それぞれ全体より多い結果に。

無職

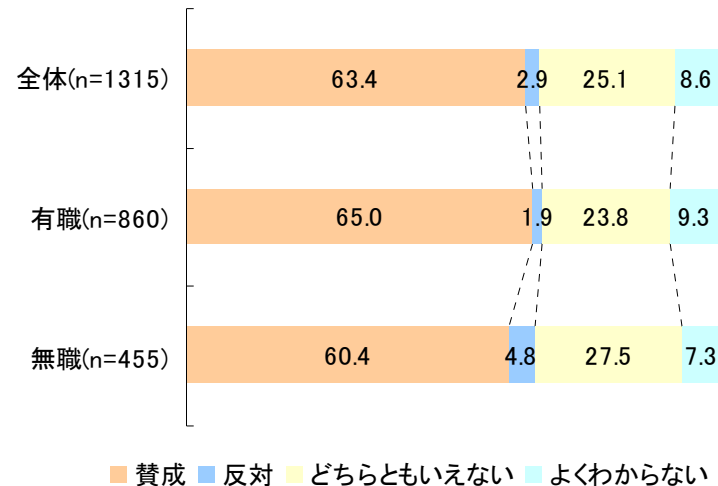
		全体	3年丸々取りたい	会社の受け入れ態勢等が整っていたら3年とりたい	3年も休むと仕事についていけないので、1年以内で戻りたい	3年も育児だけに向かうのは精神的にキツイので、1年以内で戻りたい	3年も休むと経済的に厳しいので、1年以内で戻りたい	育休を1年取るのも厳しいので、会社を辞めたい	子育てに専念したいので、積極的に会社を辞めたい	その他
	合計	450	79	154	98	14	30	16	43	16
		100.0	17.6	34.2	21.8	3.1	6.7	3.6	9.6	3.6
末子学齢と子どもの有無	子どもなし	101	17	30	33	2	5	2	6	6
		100.0	16.8	29.7	32.7	2.0	5.0	2.0	5.9	5.9
	小学生未満で未就園	114	23	40	18	3	5	6	14	5
		100.0	20.2	35.1	15.8	2.6	4.4	5.3	12.3	4.4
	小学生未満で保育園	4	0	2	0	0	2	0	0	0
		100.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	小学生未満で幼稚園	54	10	26	7	2	5	1	3	0
		100.0	18.5	48.1	13.0	3.7	9.3	1.9	5.6	0.0
	小学生（低学年）	29	5	10	4	2	2	1	4	1
		100.0	17.2	34.5	13.8	6.9	6.9	3.4	13.8	3.4
	小学生（高学年）	16	3	5	5	1	0	0	1	1
		100.0	18.8	31.3	31.3	6.3	0.0	0.0	6.3	6.3
	中学生以上	125	20	40	28	3	11	5	15	3
		100.0	16.0	32.0	22.4	2.4	8.8	4.0	12.0	2.4

<5年で保育園の待機児童をゼロにする>について

13

(数字はすべて%)

<5年で保育園の待機児童をゼロにする>について賛成？反対？

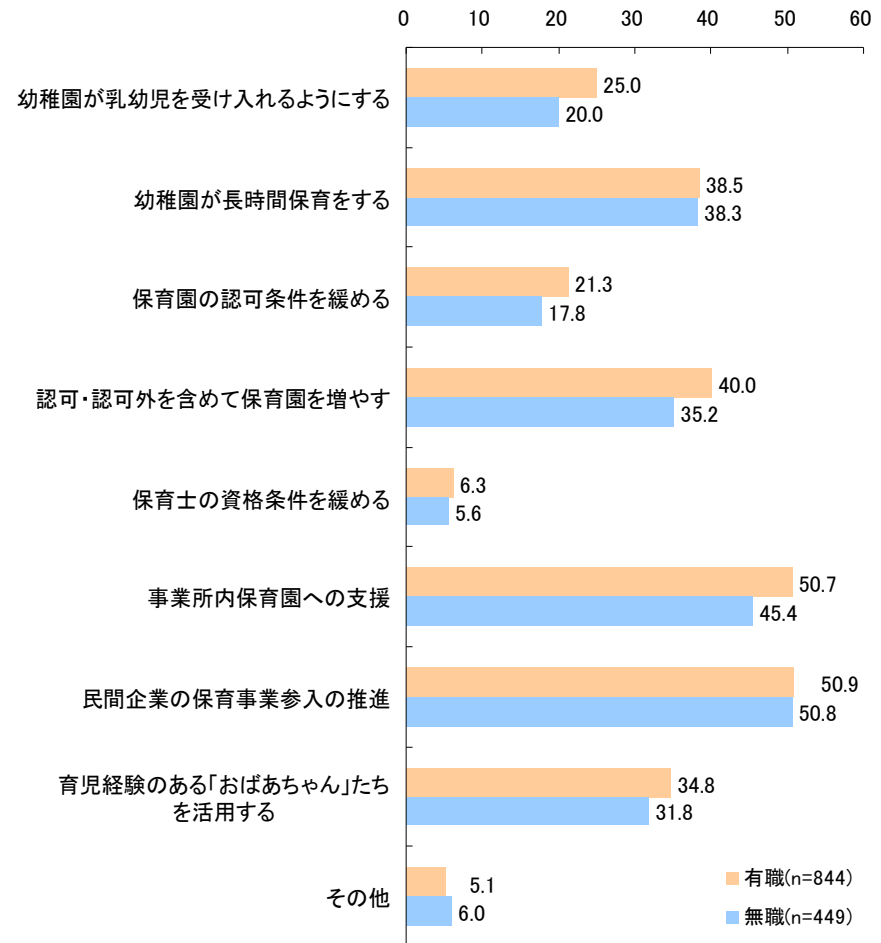


■ 待機児童ゼロの実現は総論賛成だが、保育の質の低下を心配する声多し

「賛成」が6割超に対し、4人に1人が「どちらともいえない」と回答。FAでのその理由を見ると、「保育の質の低下が心配」「実現を疑問視」「5年は時間をかけ過ぎ」「保育園を増やしても、長い目で見たとき少子化の影響で閉鎖や統廃合が心配」などが多かった。

待機児童をなくすために必要なことを聞いた設問でも(グラフ右)、「保育園の認可条件緩和」「保育士の資格条件緩和」は、質の低下を危惧するためか、低い数値になっている。

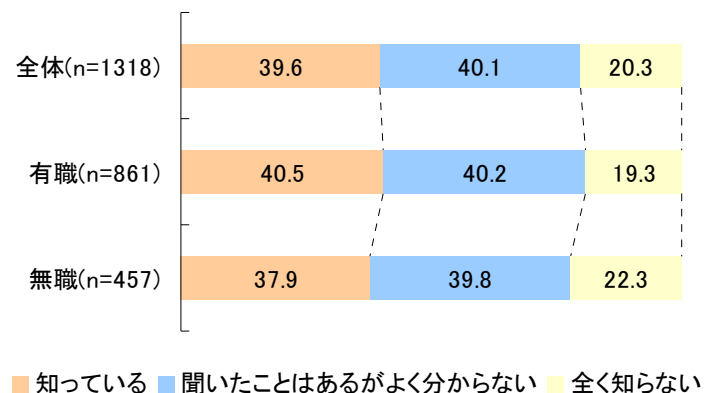
待機児童をなくすために、重要なことは何だと思いますか？(複数回答)



<子育て後の再就職・起業支援>について

(数字はすべて%)

<子育て後の再就職・起業支援>について、あなたは知っていますか？



■ 再就職・起業支援策、よく分からない・知らないが6割。周知徹底がカギ

「子育て後の再就職・起業支援」について、知っている人は4割弱。6割が「よく分からない」「全く知らない」と答えている。

この政策についての意見は、無職者に調査。28ページで後述するが、無職者の6割が賛成、4割が利用したいと答えていることから、制度の導入・整備と同時に、いかに周知するかが、カギになりそうだ。

有職

		全体	知っている	聞いたことはあるがよく分からない	全く知らない
	合計	861	349	346	166
		100.0	40.5	40.2	19.3
末子年齢と子どもの有無	子どもなし	420	157	172	91
		100.0	37.4	41.0	21.7
	小学生未満で未就園	68	32	28	8
		100.0	47.1	41.2	11.8
	小学生未満で保育園	56	25	22	9
		100.0	44.6	39.3	16.1
	小学生未満で幼稚園	40	10	18	12
		100.0	25.0	45.0	30.0
	小学生（低学年）	57	22	28	7
		100.0	38.6	49.1	12.3
	小学生（高学年）	34	20	9	5
		100.0	58.8	26.5	14.7
	中学生以上	177	78	66	33
		100.0	44.1	37.3	18.6

無職

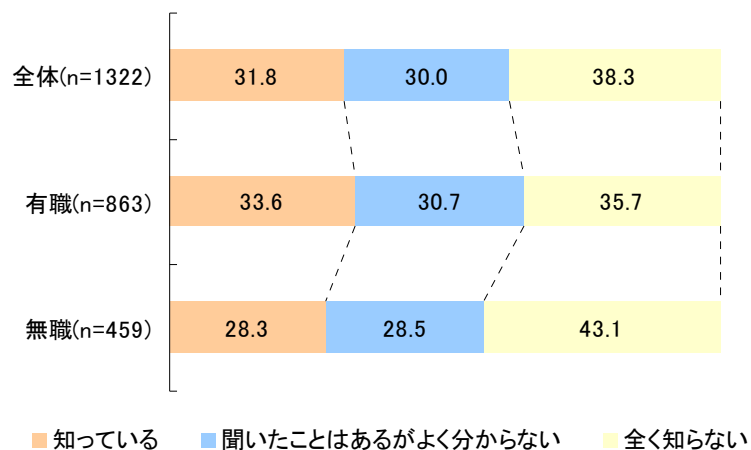
		全体	知っている	聞いたことはあるがよく分からない	全く知らない
	合計	457	173	182	102
		100.0	37.9	39.8	22.3
末子年齢と子どもの有無	子どもなし	104	38	40	26
		100.0	36.5	38.5	25.0
	小学生未満で未就園	116	42	43	31
		100.0	36.2	37.1	26.7
	小学生未満で保育園	4	0	1	3
		100.0	0.0	25.0	75.0
	小学生未満で幼稚園	55	22	22	11
		100.0	40.0	40.0	20.0
	小学生（低学年）	28	11	14	3
		100.0	39.3	50.0	10.7
	小学生（高学年）	17	6	7	4
		100.0	35.3	41.2	23.5
	中学生以上	126	54	51	21
		100.0	42.9	40.5	16.7

<上場企業で役員に1人は女性を登用>について

15

<上場企業で役員に1人は女性を登用>について、あなたは知っていますか？

(数字はすべて%)



■女性の役員登用、有職者は無職者に比べ関心が高い

政府が、上場企業で役員に1人は女性を登用してほしい、と経済3団体に要請したことについて、「知っている」は31.8%。無職者は28.3%と、有職者に比べると関心が低い。

有職

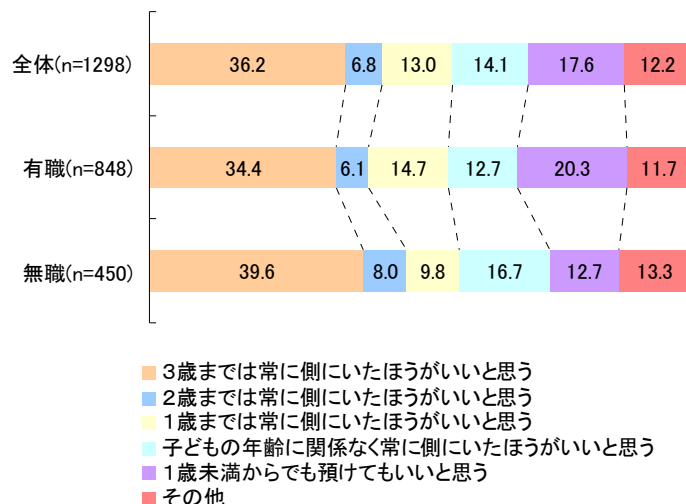
		全体	知っている	聞いたことはあるがよく分からない	全く知らない
	合計	863	290	265	308
		100.0	33.6	30.7	35.7
末子学齢と子どもの有無	子どもなし	423	146	119	158
		100.0	34.5	28.1	37.4
	小学生未満で未就園	68	22	22	24
		100.0	32.4	32.4	35.3
	小学生未満で保育園	56	15	17	24
		100.0	26.8	30.4	42.9
	小学生未満で幼稚園	40	6	13	21
		100.0	15.0	32.5	52.5
	小学生（低学年）	57	18	24	15
		100.0	31.6	42.1	26.3
	小学生（高学年）	33	15	12	6
		100.0	45.5	36.4	18.2
	中学生以上	177	64	55	58
		100.0	36.2	31.1	32.8

無職

		全体	知っている	聞いたことはあるがよく分からない	全く知らない
	合計	459	130	131	198
		100.0	28.3	28.5	43.1
末子学齢と子どもの有無	子どもなし	104	31	33	40
		100.0	29.8	31.7	38.5
	小学生未満で未就園	116	30	28	58
		100.0	25.9	24.1	50.0
	小学生未満で保育園	4	0	1	3
		100.0	0.0	25.0	75.0
	小学生未満で幼稚園	56	12	21	23
		100.0	21.4	37.5	41.1
	小学生（低学年）	29	10	6	13
		100.0	34.5	20.7	44.8
	小学生（高学年）	17	2	5	10
		100.0	11.8	29.4	58.8
	中学生以上	126	44	35	47
		100.0	34.9	27.8	37.3

「子どもが3歳になるまでは、母親が常に側にいるべき」説について

「子どもが3歳になるまでは、母親が常に側にいるべき」説についてどう思いますか？



(数字はすべて%)

有職

		全体	3歳までは常に側にいたほうが良いと思う	2歳までは常に側にいたほうが良いと思う	1歳までは常に側にいたほうが良いと思う	子どもの年齢に関係なく常に側にいたほうが良いと思う	1歳未満からでも預けてもいいと思う	その他
	合計	848	292	52	125	108	172	99
		100.0	34.4	6.1	14.7	12.7	20.3	11.7
末子学齢と子どもの有無	子どもなし	414	146	22	64	56	63	63
		100.0	35.3	5.3	15.5	13.5	15.2	15.2
	小学生未満で未就園	67	16	7	10	11	17	6
		100.0	23.9	10.4	14.9	16.4	25.4	9.0
	小学生未満で保育園	56	12	2	14	5	21	2
		100.0	21.4	3.6	25.0	8.9	37.5	3.6
	小学生未満で幼稚園	40	17	4	2	6	8	3
		100.0	42.5	10.0	5.0	15.0	20.0	7.5
小学生	小学生（低学年）	56	17	5	15	4	12	3
		100.0	30.4	8.9	26.8	7.1	21.4	5.4
	小学生（高学年）	34	10	0	5	5	11	3
		100.0	29.4	0.0	14.7	14.7	32.4	8.8
中学生以上	中学生以上	173	72	12	15	18	37	19
		100.0	41.6	6.9	8.7	10.4	21.4	11.0

無職

		全体	3歳までは常に側にいたほうが良いと思う	2歳までは常に側にいたほうが良いと思う	1歳までは常に側にいたほうが良いと思う	子どもの年齢に関係なく常に側にいたほうが良いと思う	1歳未満からでも預けてもいいと思う	その他
	合計	450	178	36	44	75	57	60
		100.0	39.6	8.0	9.8	16.7	12.7	13.3
末子学齢と子どもの有無	子どもなし	102	40	4	15	12	14	17
		100.0	39.2	3.9	14.7	11.8	13.7	16.7
	小学生未満で未就園	113	40	11	11	24	14	13
		100.0	35.4	9.7	9.7	21.2	12.4	11.5
	小学生未満で保育園	4	0	0	1	2	0	1
		100.0	0.0	0.0	25.0	50.0	0.0	25.0
	小学生未満で幼稚園	55	21	5	3	7	6	13
		100.0	38.2	9.1	5.5	12.7	10.9	23.6
小学生	小学生（低学年）	29	14	2	2	5	3	3
		100.0	48.3	6.9	6.9	17.2	10.3	10.3
	小学生（高学年）	16	5	2	2	4	3	0
		100.0	31.3	12.5	12.5	25.0	18.8	0.0
中学生以上	中学生以上	124	55	11	9	20	17	12
		100.0	44.4	8.9	7.3	16.1	13.7	9.7

■子供のいない人に保守的な傾向が

俗に言う「3歳児神話」についてどう思うかを聞いた。全体では36.2%が「3歳までは母親が常に側にいるべき」と回答。

有職者と無職者の比較や、保育園に預けて働いているママを見ると「1歳未満からでも預けていいと思う」人が多く、「3歳までは側にいるべき」が少ないという特徴を見せた。

子供のいない人が、比較的保守的な考えを示しているのも、特徴的。

「女性が社会で活躍するのに必要だと思うこと」フリーアンサー(1002件)から抜粋

1位 男性の理解・協力、男女の意識・思考の改革(154件)

- ・男性の考え方の転換、マインドチェンジです。女性が家事をすればいい、女性管理職の下で働くのは嫌とか・・・そういう精神をまず変えないと。(41歳・有職)
- ・男性の協力です。特に家庭内で女性ばかり負担が多くなる事があるので男性もきちんと理解して協力するべき。(26歳・有職)
- ・男性の協力。世帯持ちの上司の帰宅時間を早めること！年上の上司は子育てがひと段落していて、仕事しかやることがないかもしれないけど、部下の子供はまだ小さい！でも上司がいると早く帰りにくい...ことは多いです。子供が大きくなっても家族との時間を大切にする上司の方が信頼もされそうです。(29歳・無職)

2位 保育園・病児保育・学童保育など、育児サポート制度の整備、周囲の理解(149件)

- ・育児をサポートする機関が絶対的に必要。また周囲の理解と援助が少なすぎる。パートに出ようと思っても、子供が病気の際休みを取りにくい事など、働く環境が整っていないすぎると思う。(43歳・無職)
- ・育休だけでなく、普段から、子どもの体調不良で保育園を休む時など、急なお休みをとりやすくしたり、保育園も、病児保育ができる環境を整えたりすること。(32歳・無職)
- ・子どもを預ける先がたくさんあって、預けられることが出来たら、仕事を探すことが出来ると思う。現在の小学生が利用する、学童保育は仕事が決まってから、学童に申し込み、その結果入れないなんて状況があり、本末転倒だと嘆く母が大勢いるので。(44歳・有職)

3位 社会・風土の改革、男女差別・格差をなくす(135件)

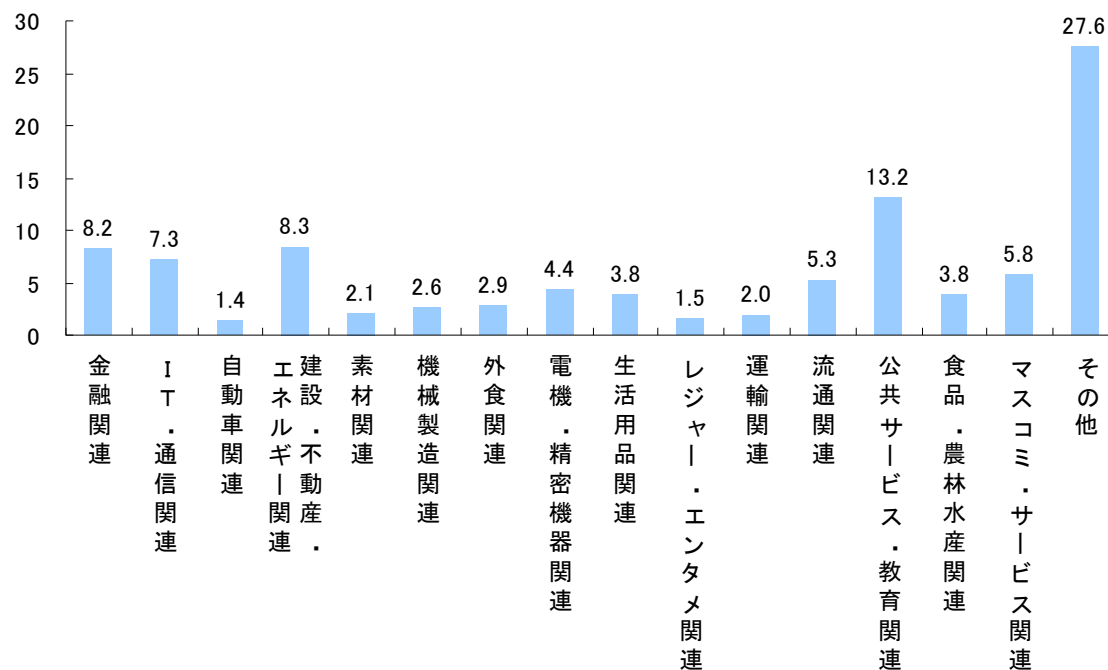
- ・表面でうたっている男女平等論をきちんと大きな企業だけではなく中小企業にまできちんと浸透させてほしい。頑張っている分は評価してほしい。(33歳・有職)
- ・男女差の賃金・昇給の格差をなくすこと。産休や育休を男女ともに取りやすくすること。(34歳・有職)
- ・女性も働くのが当然という社会の意識。今の30代以下はかなり変化してきているが、50代以上の人からの冷たい視線を感じる。(45歳・有職)

【企業などの組織で働いている人】調査対象者プロフィール

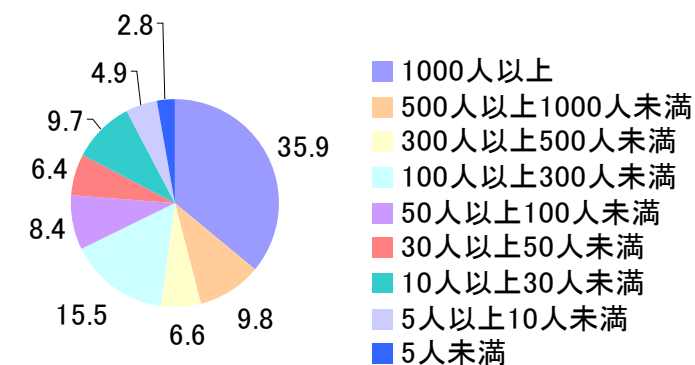
18

勤めている業種 (n=660)

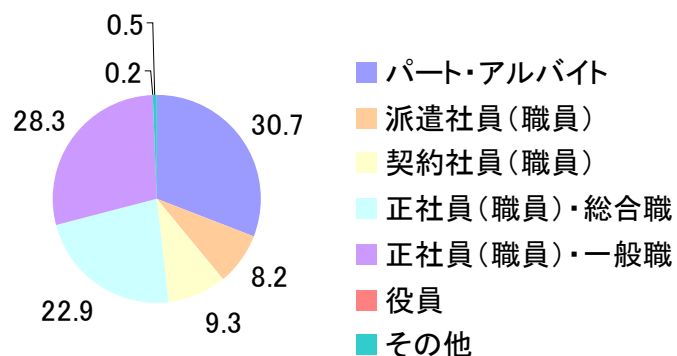
(数字はすべて%)



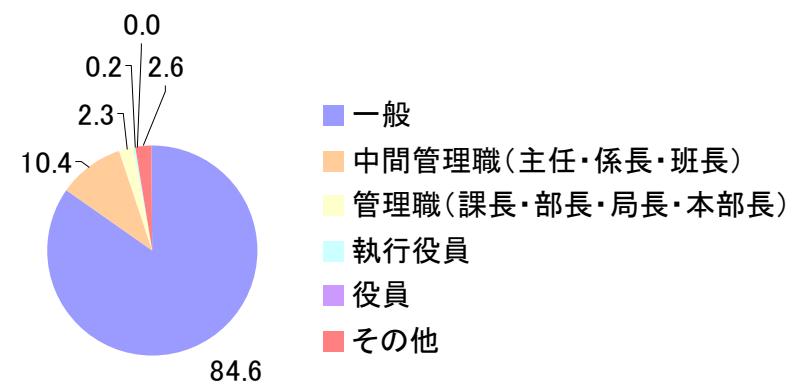
勤めている会社などの組織の従業員数(n=652)



雇用形態 (n=658)



職場でのポジション (n=656)



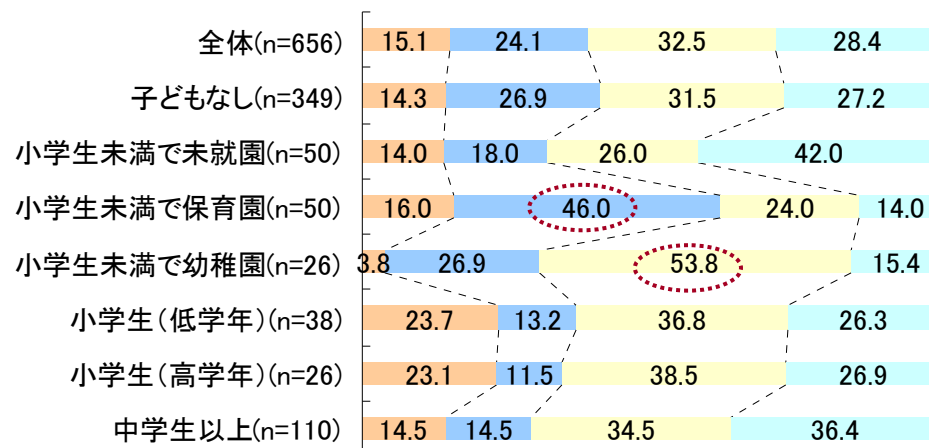
【企業などの組織で働いている人】今の職場で昇進・昇格したいと思うか？

19

あなたは今の職場で昇進・昇格したいと思いますか？

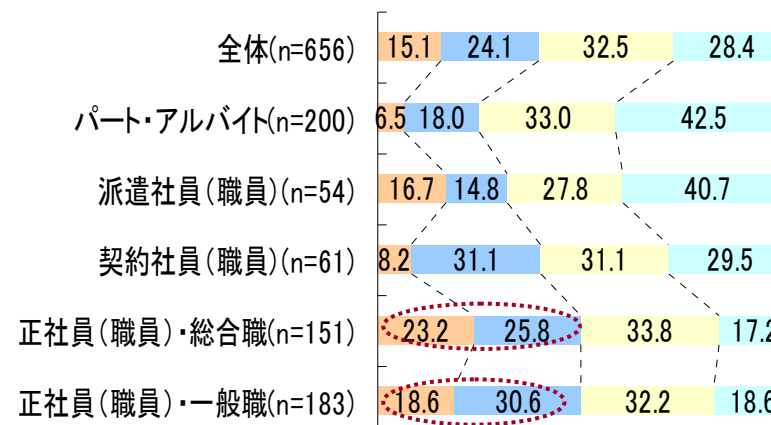
(数字はすべて%)

末子学齢別



■ したい ■ どちらかといえばしたい ■ あまりしたくない ■ したくない

雇用形態別



■ したい ■ どちらかといえばしたい ■ あまりしたくない ■ したくない

■ 保育園に預けて働くワーキングマザーは昇進・昇格にも意欲的

今の職場で「昇進・昇格したい」「どちらかといえばしたい」は、39.2%。

末子の学齢別でみると保育園児ママで「どちらかといえばしたい」が高いのに対し、幼稚園児ママで「あまりしたくない」が半数を超えている

また、雇用形態別では、当然のことながら正社員で働く人の方が昇進・昇格に意欲的だが、一般職で「どちらかといえばしたい」がやや多くなっている。

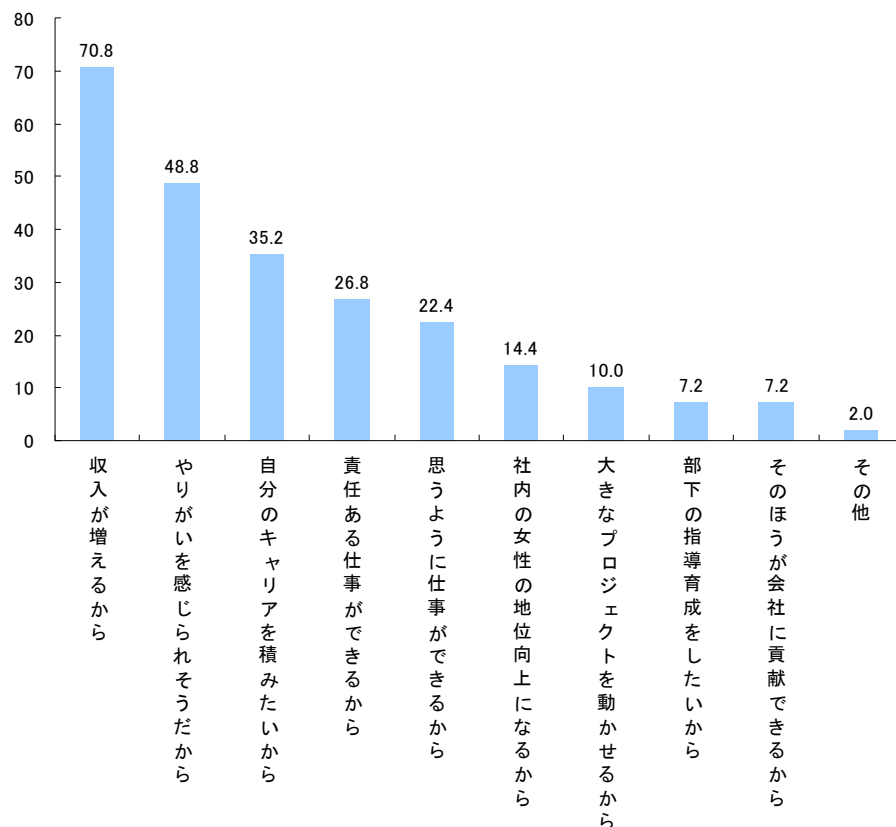
【企業などの組織で働いている人】

昇進・昇格を「したい」「どちらかといえばしたい」「したくない」「あまりしたくない」人の理由

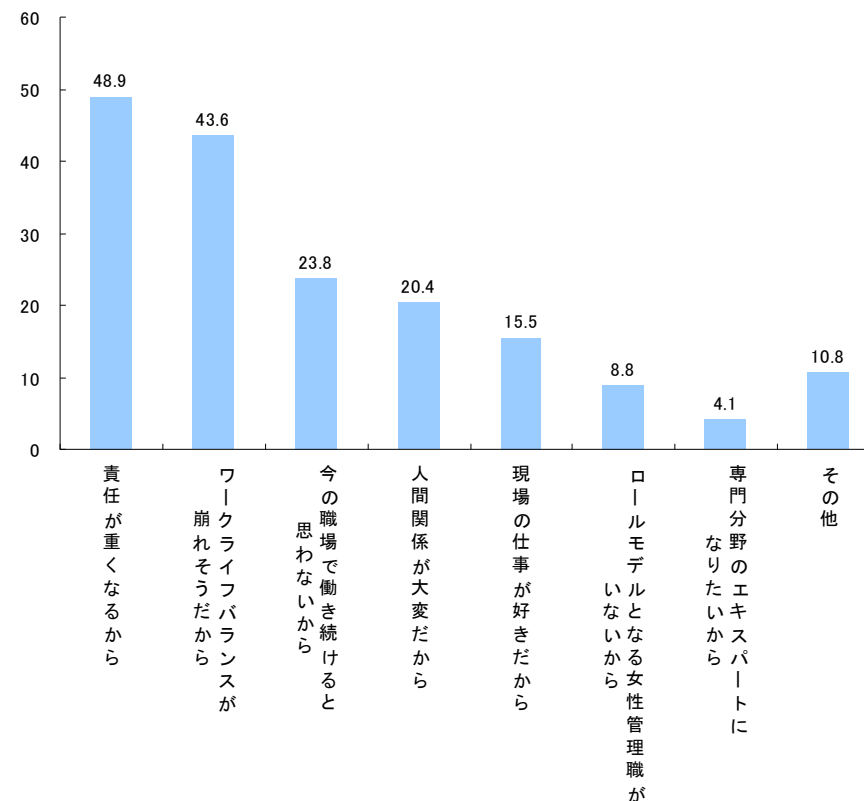
20

昇進・昇格を「したい」「どちらかといえばしたい」人の理由(複数回答)

(数字はすべて%)



昇進・昇格を「したくない」「あまりしたくない」人の理由(複数回答)



■責任が重くなる、ワークライフバランスが崩れる、 が昇進・昇格したくない、2大理由

「昇進・昇格をしたい」理由の第1位は、「収入が増える」が70.8%と圧倒的。「やりがいを感じられそう」も48.8%と半数近い。

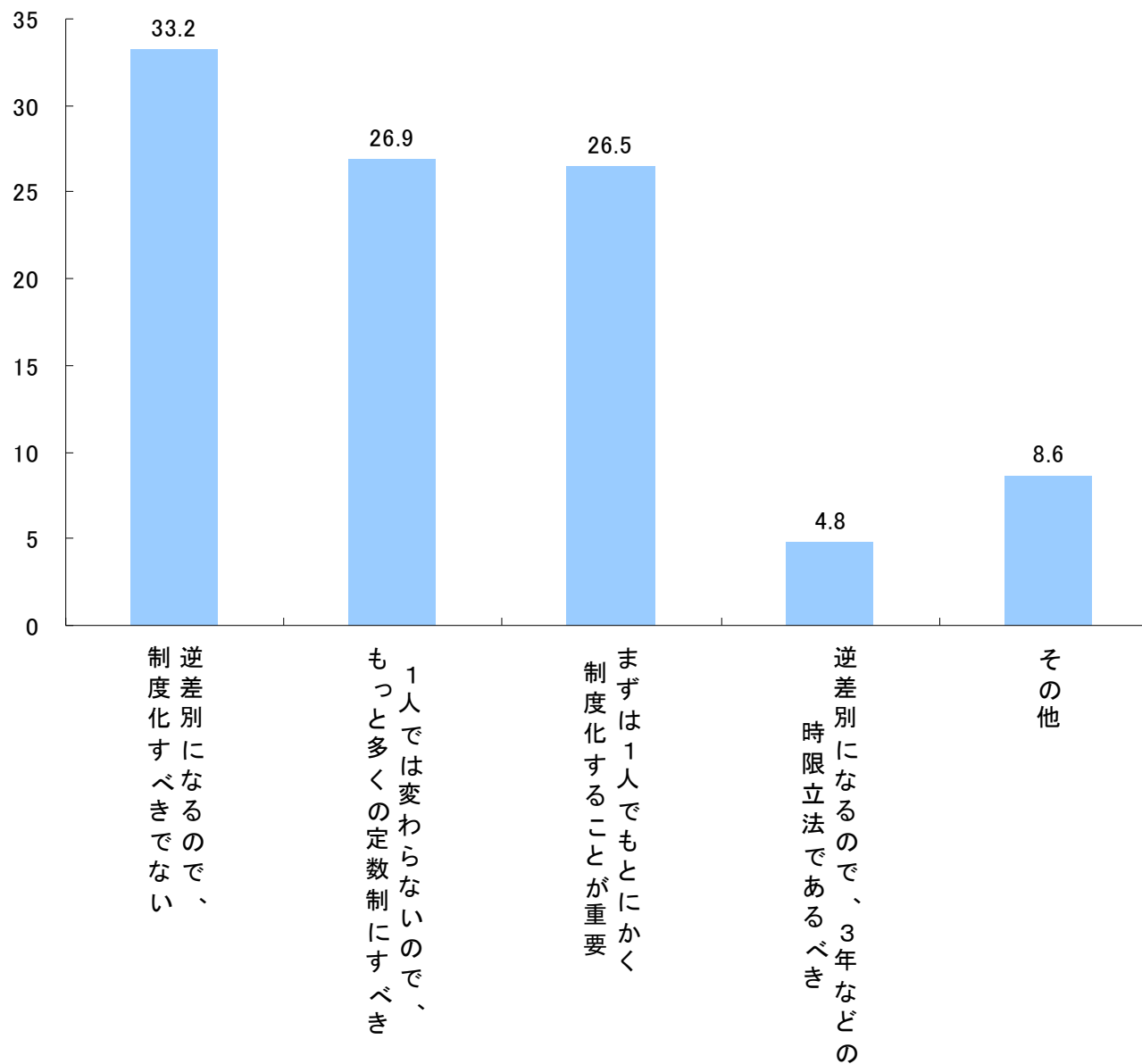
一方、「昇進・昇格をしたくない」は、「責任が重くなるから」48.9%、「ワークライフバランスが崩れそうだから」43.6%が、2大理由

【企業などの組織で働いている人】＜上場企業で役員に1人は女性を登用＞についてどう思うか

21

＜上場企業で役員に1人は女性を登用＞について、あなたの意見に近いものはどれ？

（数字はすべて％）



■「とりあえず制度化」が半数以上。一方「制度化すべきではない」が33.2%

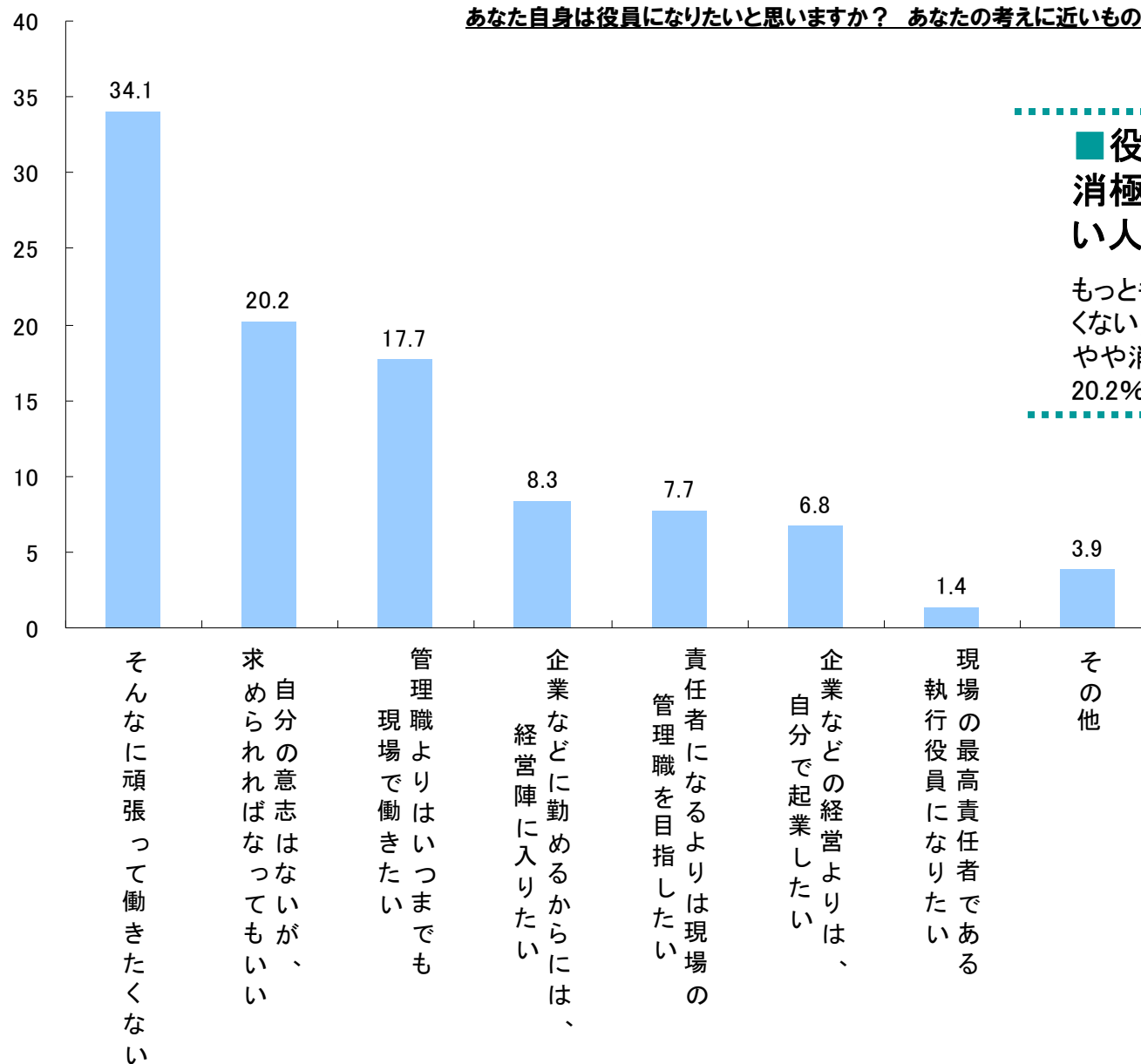
「とりあえずは制度化」「もっと多くの定数制にすべき」を合わせると半数以上。一方、「逆差別になるので制度化すべきではない」が、33.2%で項目別では1位。

この問題の複雑さが表れた

【企業などの組織で働いている人】自分自身は役員になりたいと思うか

あなた自身は役員になりたいと思いますか？ あなたの考えに近いもの

(数字はすべて%)



■役員になることについて。
消極的ではあるが否定的でもない人が20.2%

もっとも多いのは「そんなに頑張って働きたくない」34.1%だが、「求められれば…」と、やや消極的ながらも否定的ではない人も20.2%。

【企業などの組織で働いている人】

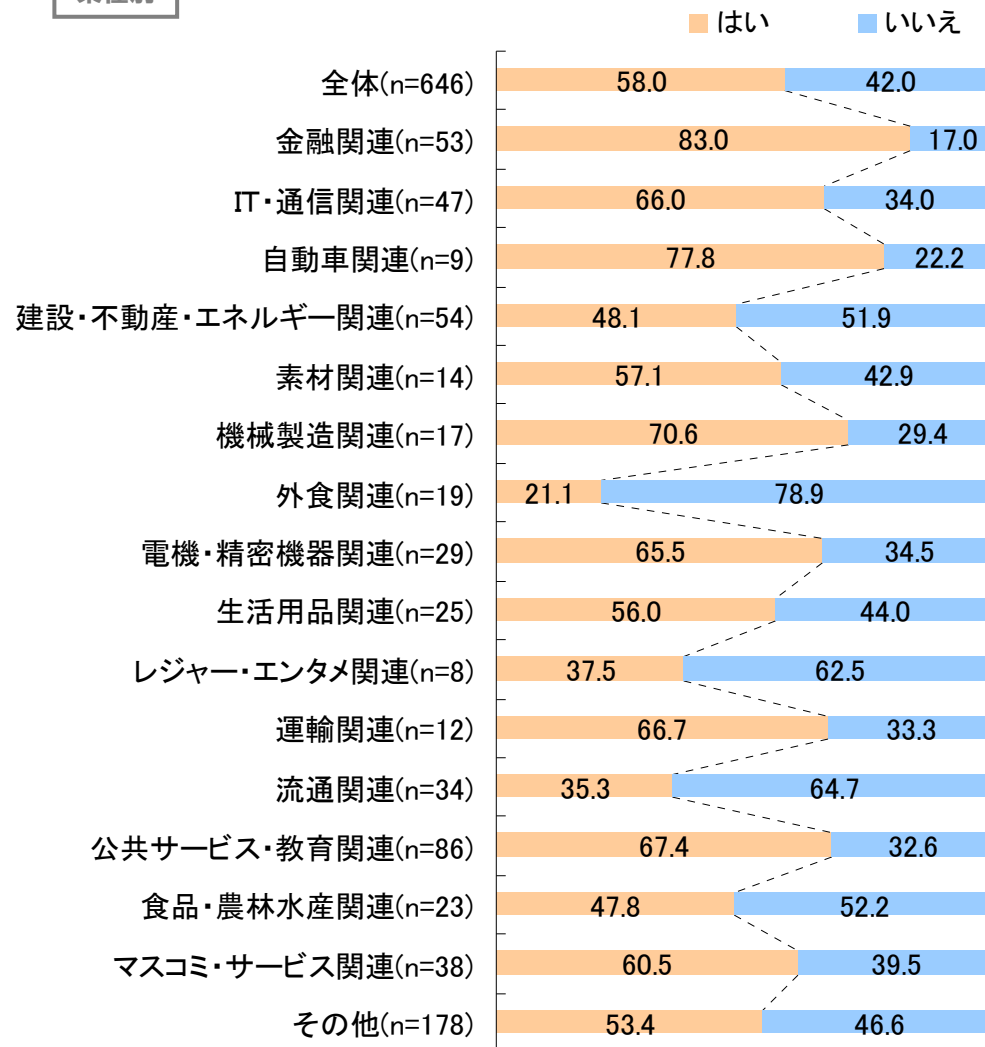
職場は女性が妊娠・出産や育休取得がしやすいと思うか？

23

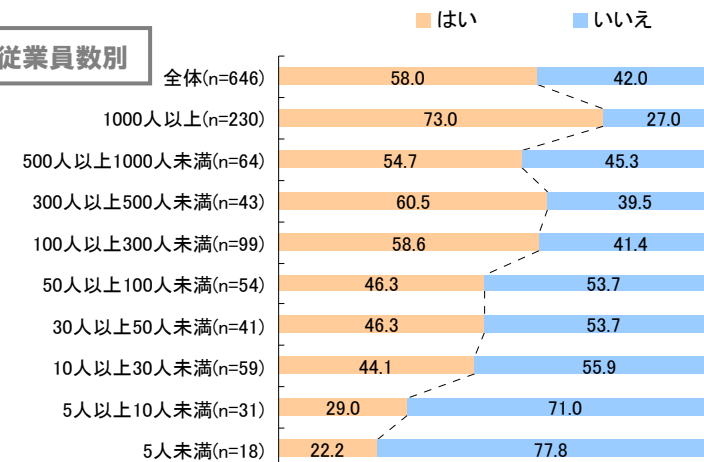
あなたの職場は、女性が妊娠・出産や育休の取得がしやすい職場だと思いますか？

(数字はすべて%)

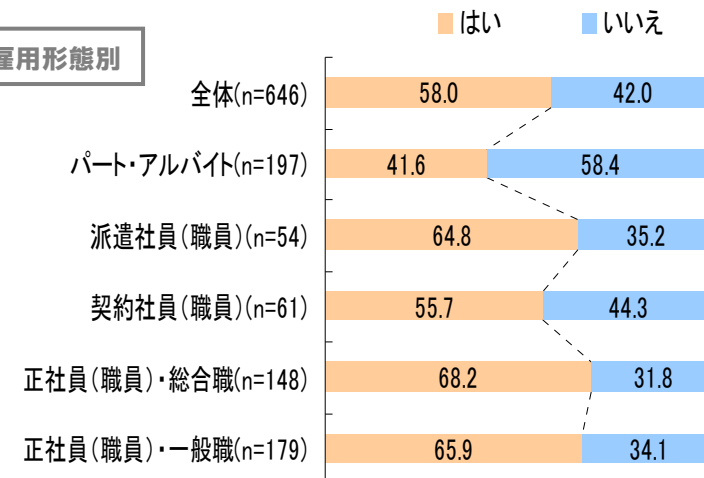
業種別



従業員数別



雇用形態別



業種、従業員数、雇用形態で格差

全体では半数超が、取得しやすいと答えているが、業種、別、従業員数別、雇用形態別に見ると、違いが表れる。1000人以上規模の金融関連、正社員が最も休暇を取りやすいという結果に。

【企業などの組織で働いている人】

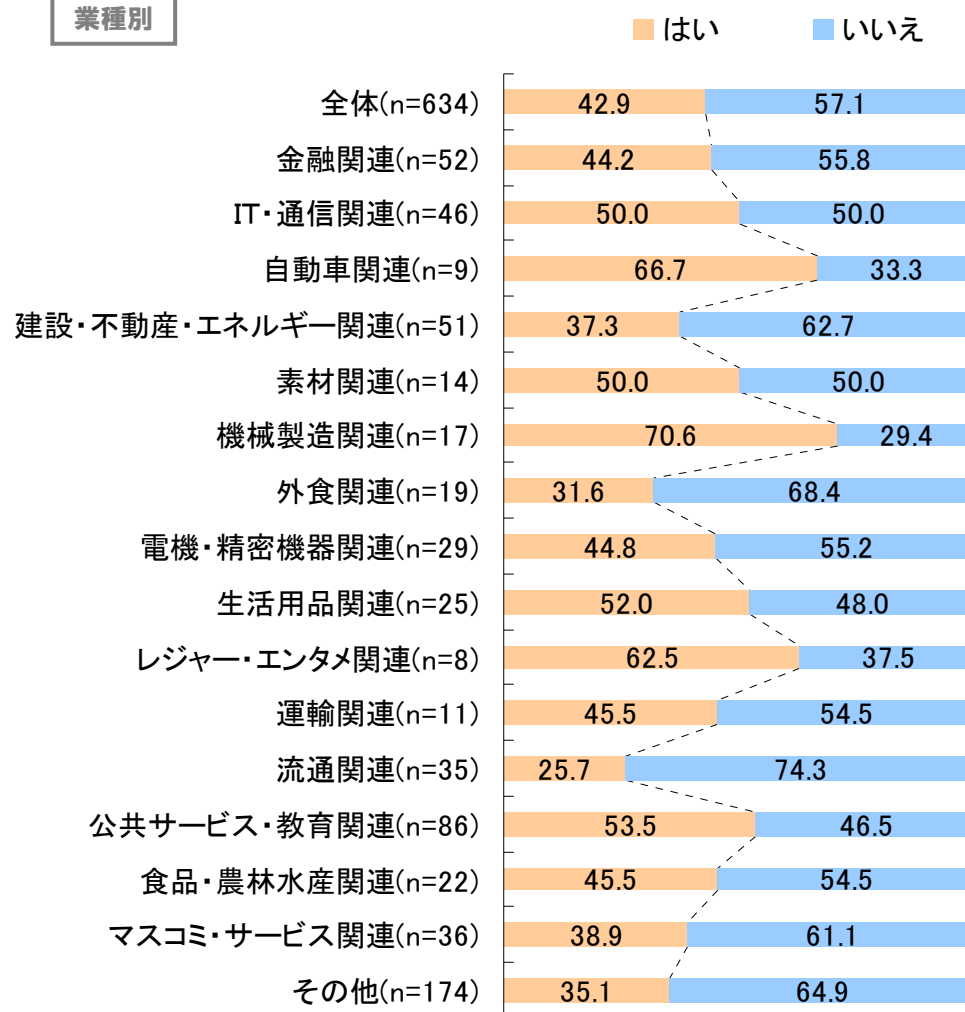
職場は男性が子供のために早く帰ったり、育児休暇を取得したりしやすいと思うか？

24

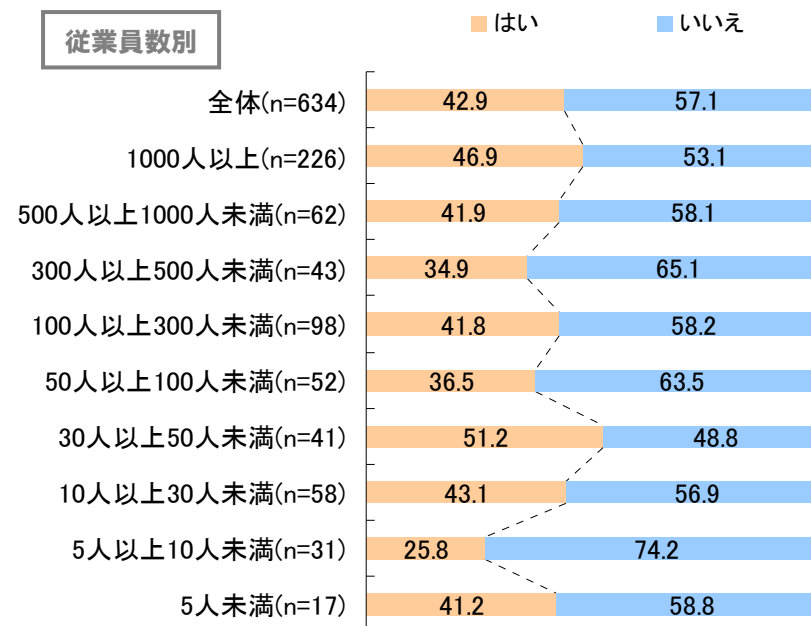
あなたの職場は、男性が子どものために早く帰ったり、育児休暇を取得したりしやすいと思いますか？

(数字はすべて%)

業種別



従業員数別



■ 男性の育児休暇は数日間？

男性の育児休業取得率は、平成24年度には前年から0.74ポイント減の1.89%と減少傾向にある(※)が、今回の調査では42.9%が「取りやすい」と回答。

フリーアンサーの理由を見ると、“子供が病気のときや、学校・園の行事に休んだり早退する男性が多い”というもの。

育児のために会社を休むといっても、実は数日程度というのが現実か。

1カ月未満の取得者は増えている(※)というデータとも合致している。

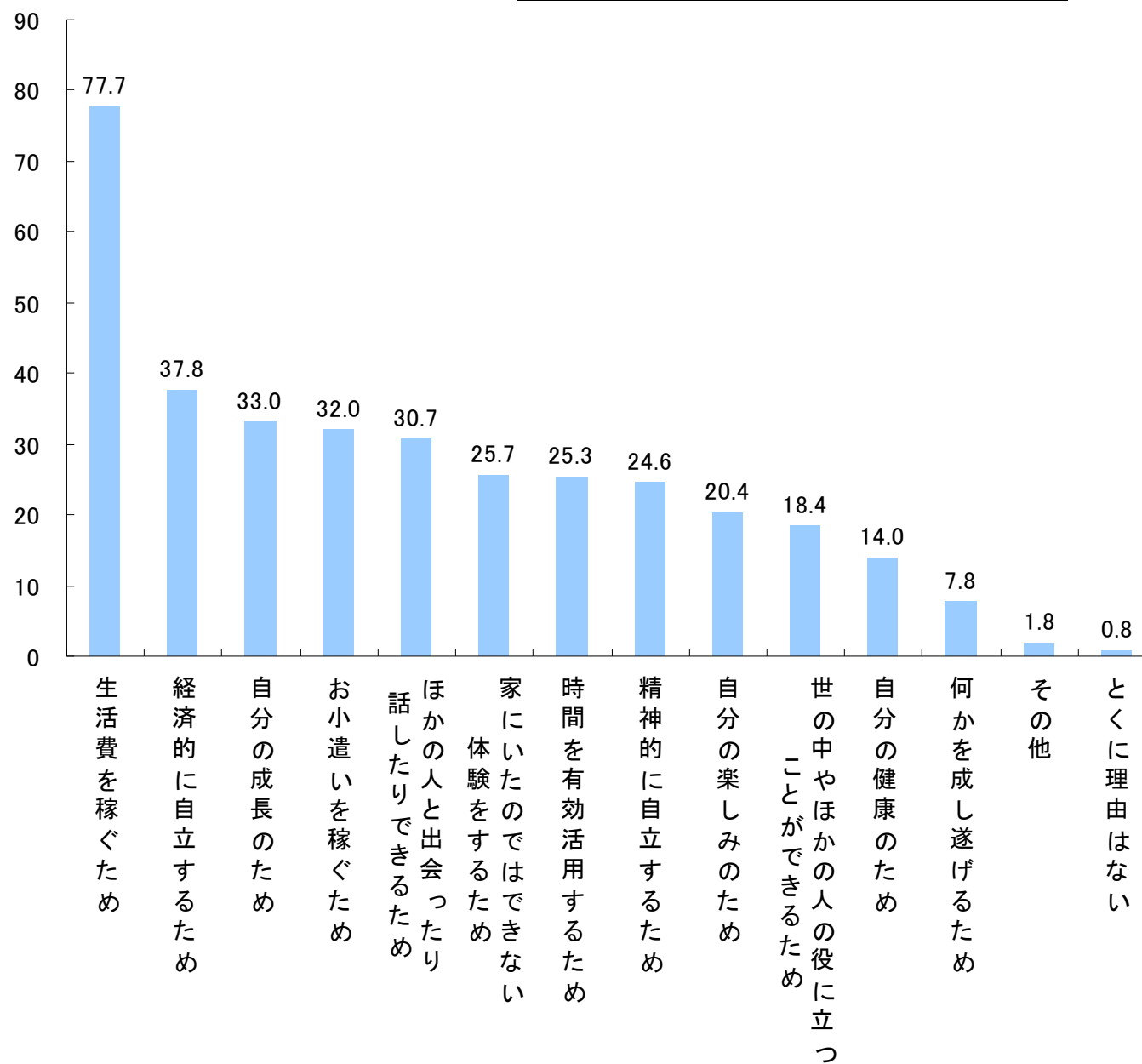
※厚生労働省・雇用均等基本調査

【企業などの組織で働いている人】現在、働いている理由は？

25

現在、あなたが働いている理由は何ですか？（複数回答）

（数字はすべて％）



【現在結婚していて働いている人】

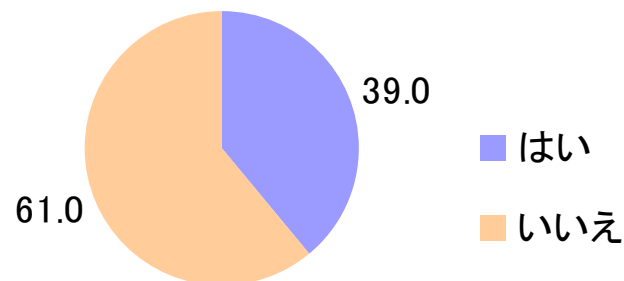
配偶者の扶養家族か？／その場合、働き方と扶養家族であることについてどう思うか？

26

(数字はすべて%)

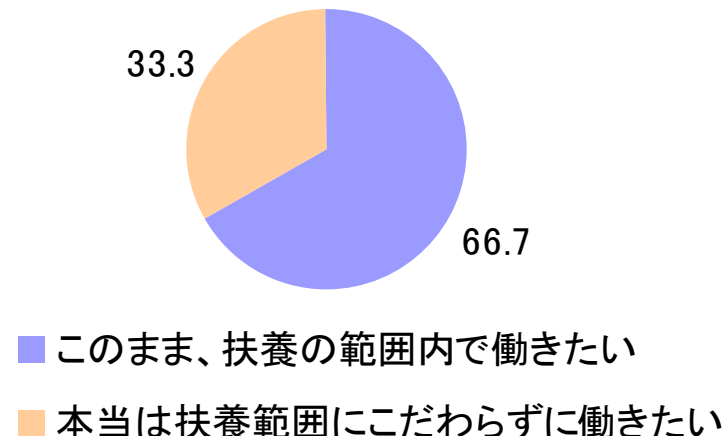
【現在結婚していて、働いている人】

あなたは配偶者の扶養家族ですか？



【はいと答えた方】

働き方と配偶者の扶養家族であることについて
どう思いますか？

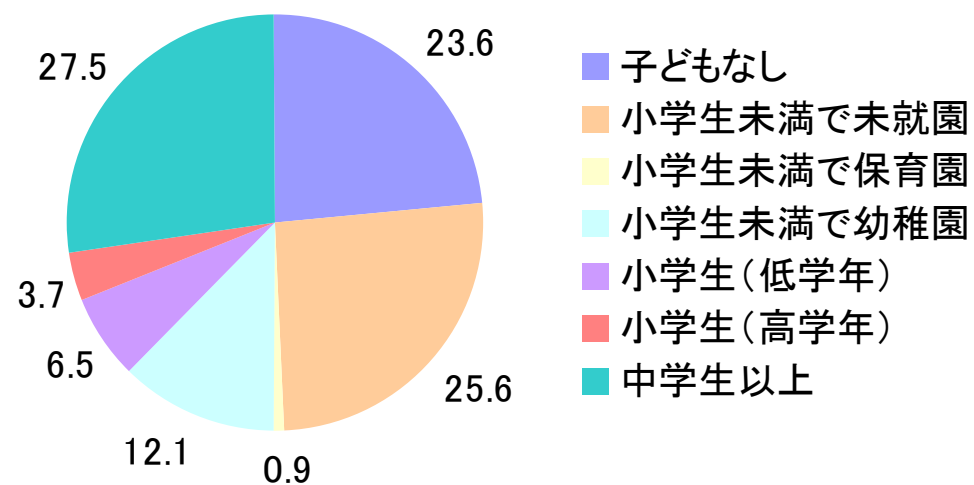


■ 本当は扶養範囲にこだわらずに働きたい、その理由(フリーアンサーから)

- ・今の扶養から出るのなら、ぐーんと働かなければいけない。働きたいけど、仕事が見つからない。決まらない現実です。(40歳)
- ・103万以上働く損をするため働くことを少なくしているが、好きな仕事であればどんどん働きたい。(44歳)
- ・将来が不安なので、本当は正社員で働いて貯金を増やしたい。(27歳)
- ・今の職場でフルでと言われましたが少ししかお給料が増えないのに税金が扶養を外れるだけですごく高くなるし、補償などで引かれる分を考えると働かない方がいいくらいになるので。(50歳)
- ・年収に限られて、今現在とても働きづらいことになっている。私個人は働きたい気持ちも働ける時間もあるのに、収入を調整するために、実際は休みばかりです。(46歳)
- ・家事をほとんど私一人でやっているの、そうでなければもっと残業がある仕事でも選べるのに…という気持ちがあります。(42歳)
- ・健保組合から追い出されない為に年収に制限があり、やりたい仕事まで手が出せず、自分の職場では社会保険に加入することを拒まれ、自腹で全額負担すれば扶養で働くより手取りが減るので仕方なくサービス残業までしています。第三号など無ければ思いっきり働けるのにと常々思っている。(50歳)
- ・社会保険の金額がパートで時給で働く人の少ない収入に対してもかかってくるので、その分、無駄に働いているように思えます。(41歳)

(数字はすべて%)

子どもの有無と末子学齢 (n=461)

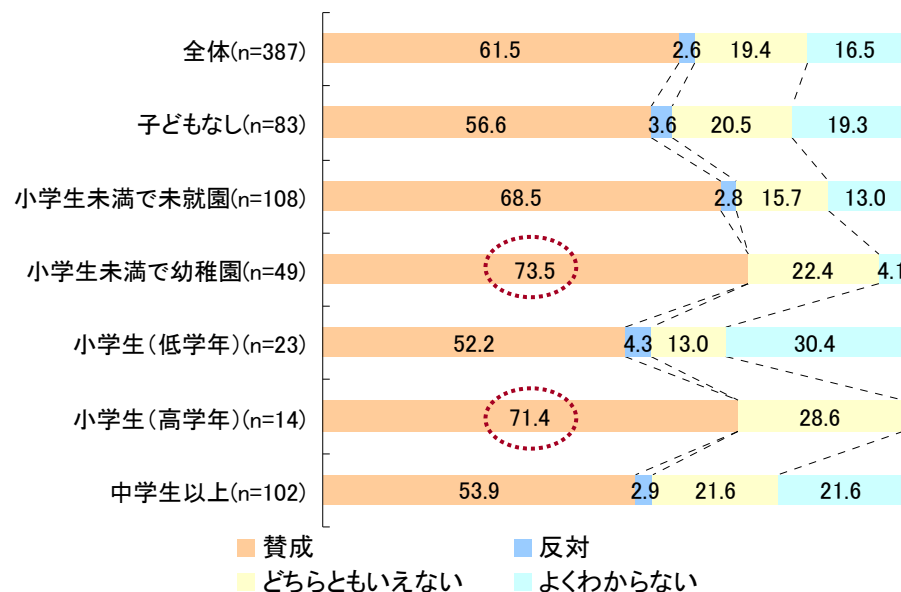


【現在、働いていない人】＜子育て後の再就職・起業支援＞について

28

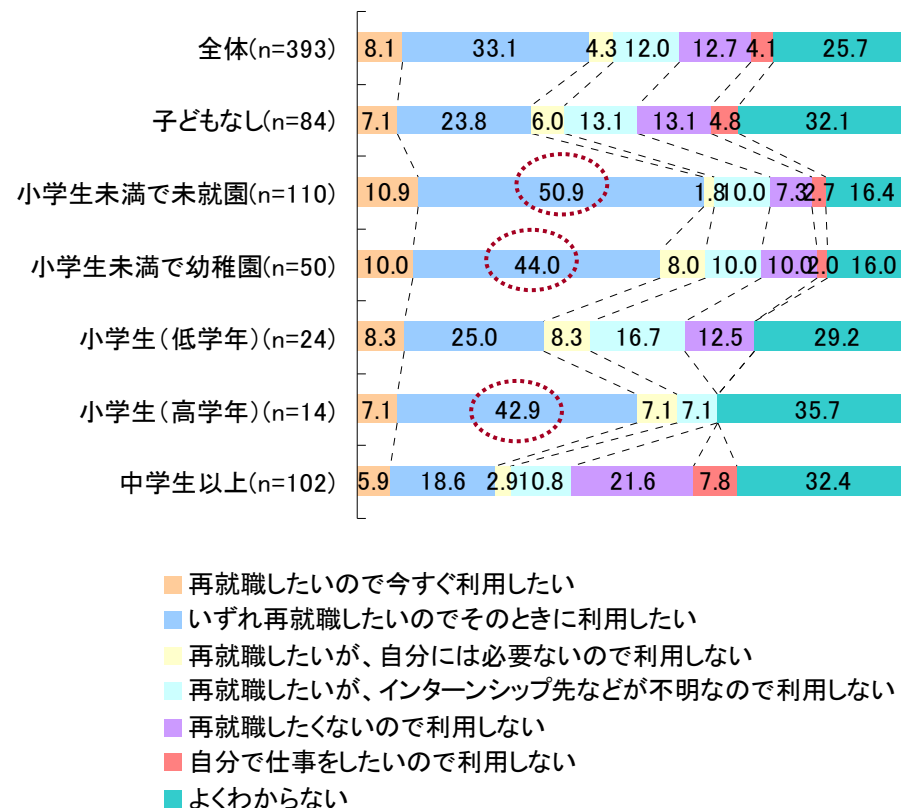
(数字はすべて%)

＜子育て後の再就職・起業支援＞について、賛成？反対？



(※小学生未満で保育園は参考値のため省略)

こうしたインターンシップやトライアル雇用を、あなたは利用したいですか？



(※小学生未満で保育園は参考値のため省略)

■ 幼児、小学生高学年の母親の関心が 高いが、利用したい時期は“いずれ”…

子育て後の再就職支援・起業支援については、全体では6割が賛成。末子の学齢別では、小学生未満で幼稚園、小学生高学年の母親の支持率が高くなっている。

利用したいかどうかを聞いたところ(グラフ右)、小学生未満の幼児を抱える母親と小学生高学年の母親の利用意向が高いが、「いずれ…」という層が最も多い。

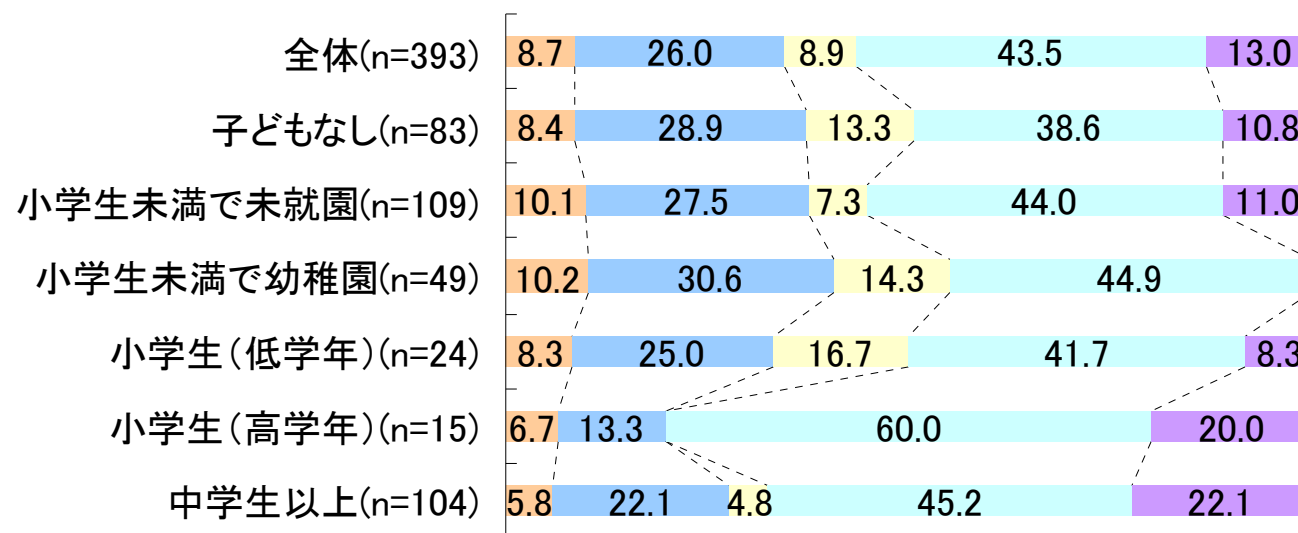
【現在、働いていない人】起業や創業の資金援助やアドバイスなどのサポートについて

29

(数字はすべて%)

起業や創業の資金援助やアドバイスなどのサポートについて、
あなたはどのように思いますか？

(※小学生未満で保育園は参考値のため省略)



- ぜひ利用したい
- 条件があれば利用したい
- 自分の起業・創業には必要がないので利用しない
- 起業や創業は考えていないので利用しない
- よくわからない

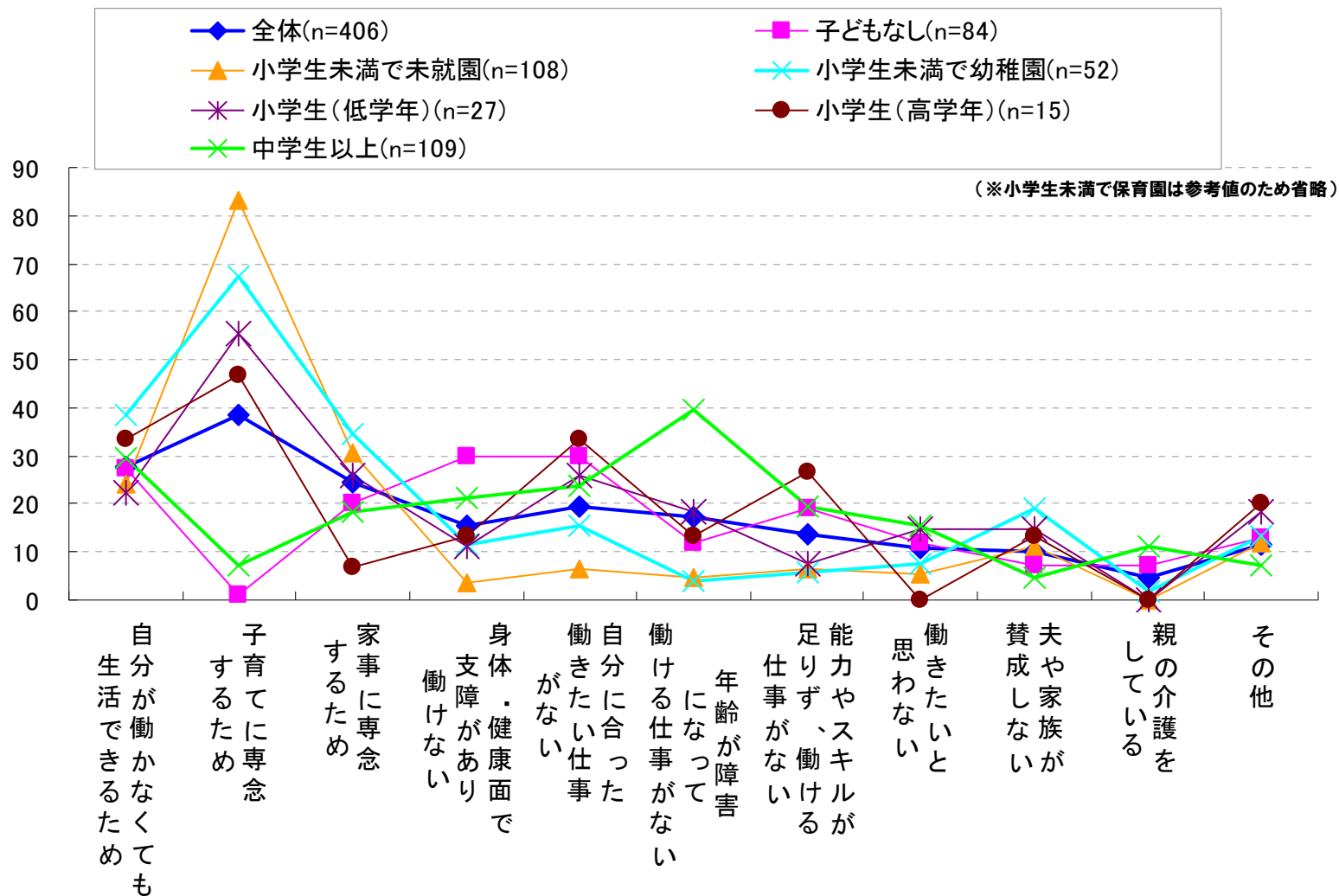
■ 起業や創業のサポートは若い世代の関心が高い

子供が比較的小さい層に、起業を考えている人は多い。

【現在、働いていない人】現在働いていない理由は？

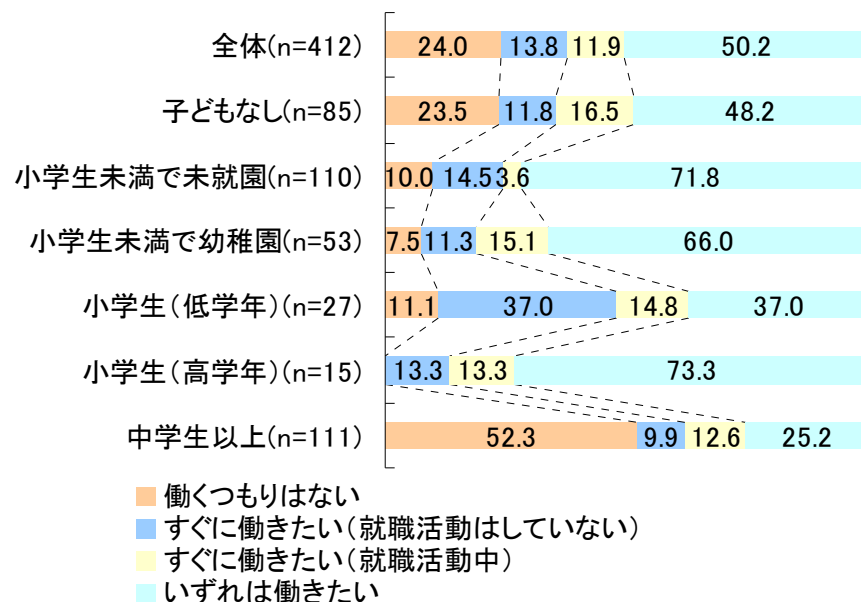
現在働いていない理由はなんですか？（複数回答）

（数字はすべて％）

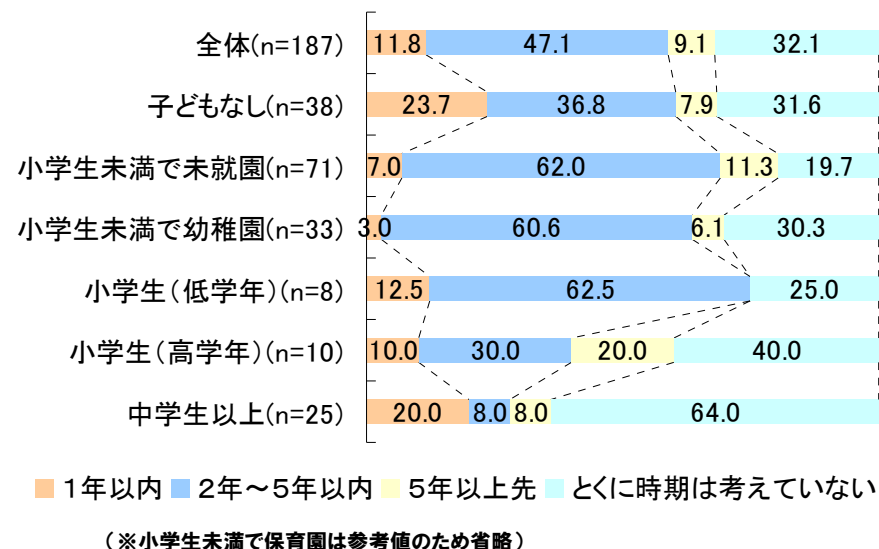


(数字はすべて%)

あなたは今後、働くことを考えていますか？



いずれ働きたいと答えた人はどのくらい後に働きたいですか？



■再就職、背中を押すタイミングは、子供が小学校低学年

今後の働く意向は、小学生未満の幼児の母親、小学校高学年の母親に「いずれ働きたい」が多い。ただ、この層は“いずれ”であって、“先送り”の意識が強そう。

これに対し、小学校低学年の母親は、「就職活動はしていないがすぐに働きたい」が、他の層に比べ、最も多くなっている。

逆に、子供が中学生以上になると、「働きたくない」が半数を超える。

それでは、“いずれ働きたい”のいずれはいつごろなのだろうか。

小学生未満、小学校低学年の母親はいずれも、6割以上が「2年～5年以内」、と答えている。

その2年～5年後に当たる、小学校高学年、中学生以上になると、「とくに時期は考えていない」が多くなり、働こうという意思が漠然としてくる。

再就職の背中を押すタイミングは、子供が小学校に入学し、環境に慣れてきた頃かもしれない。

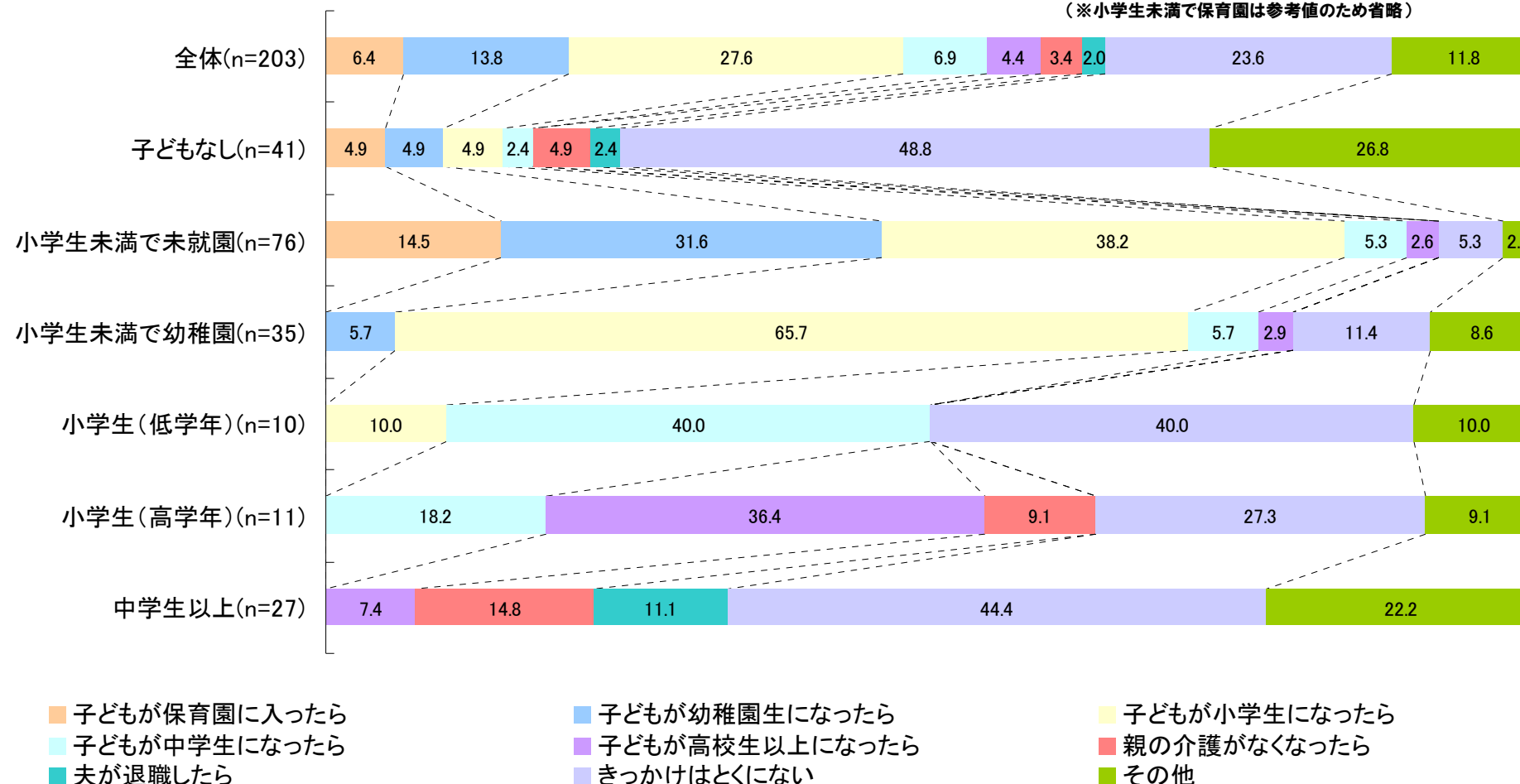
【現在、働いていない人】いずれ働きたい人の実際に仕事を始めたいタイミングは？

32

いずれ働きたいと答えた人へ。実際に仕事を始めたいタイミングは下記のどれですか？

(数字はすべて%)

(※小学生未満で保育園は参考値のため省略)



■子供が小学校高学年以上になると、再就職に消極的になる？

再就職のタイミングを、ライフステージ別に聞いてみた。子供を持つ母親で小学校低学年までは、子供が現在よりも一つ上の学齢になったら、と考えている。ところが子供が小学校高学年になると、中学を飛ばして高校生になり(35.4%)、中学生以上になると「きっかけはとくにない」が44.4%と一番多くなる。子供が小学校高学年以上になってくると、再就職しようという気持ちが薄れてくるようだ。

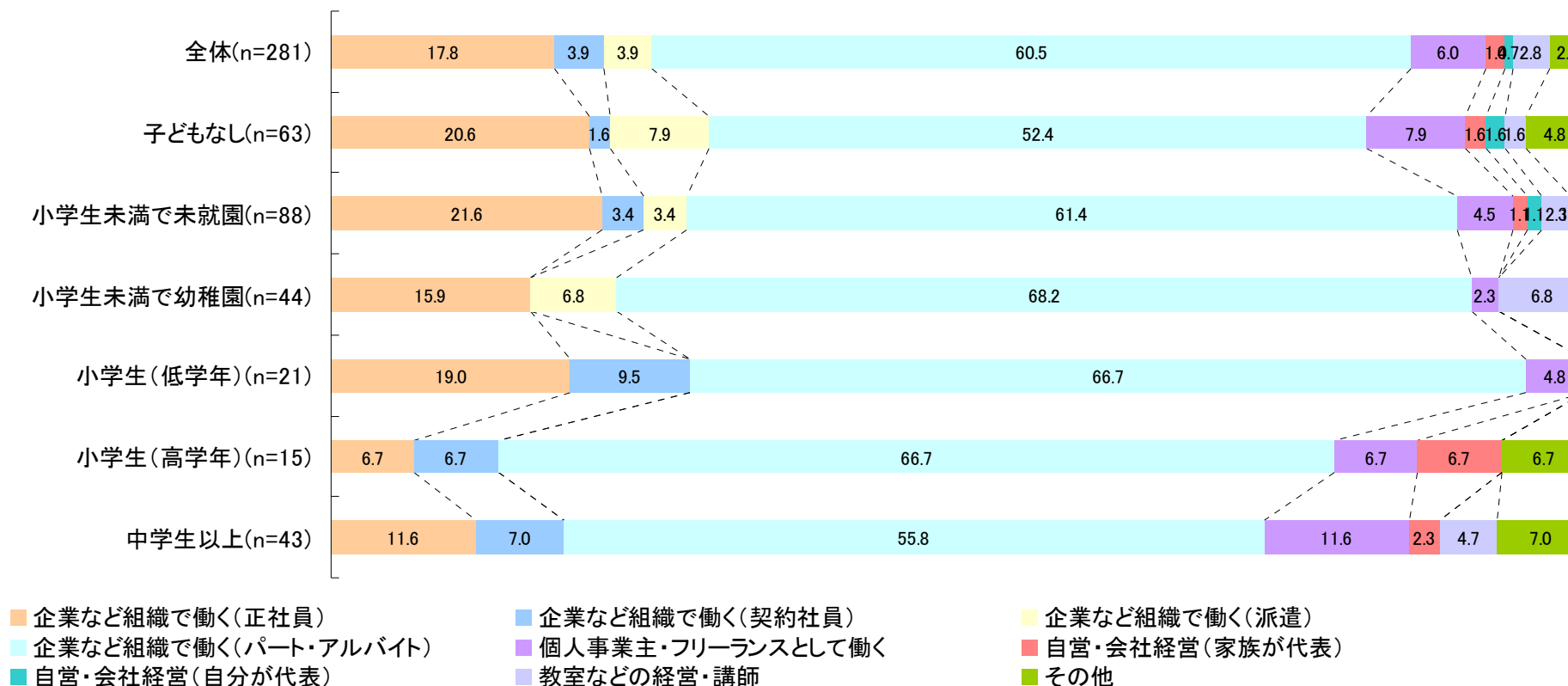
【現在、働いていない人】すぐに、いずれ働きたい人の希望する働き方は？

33

(数字はすべて%)

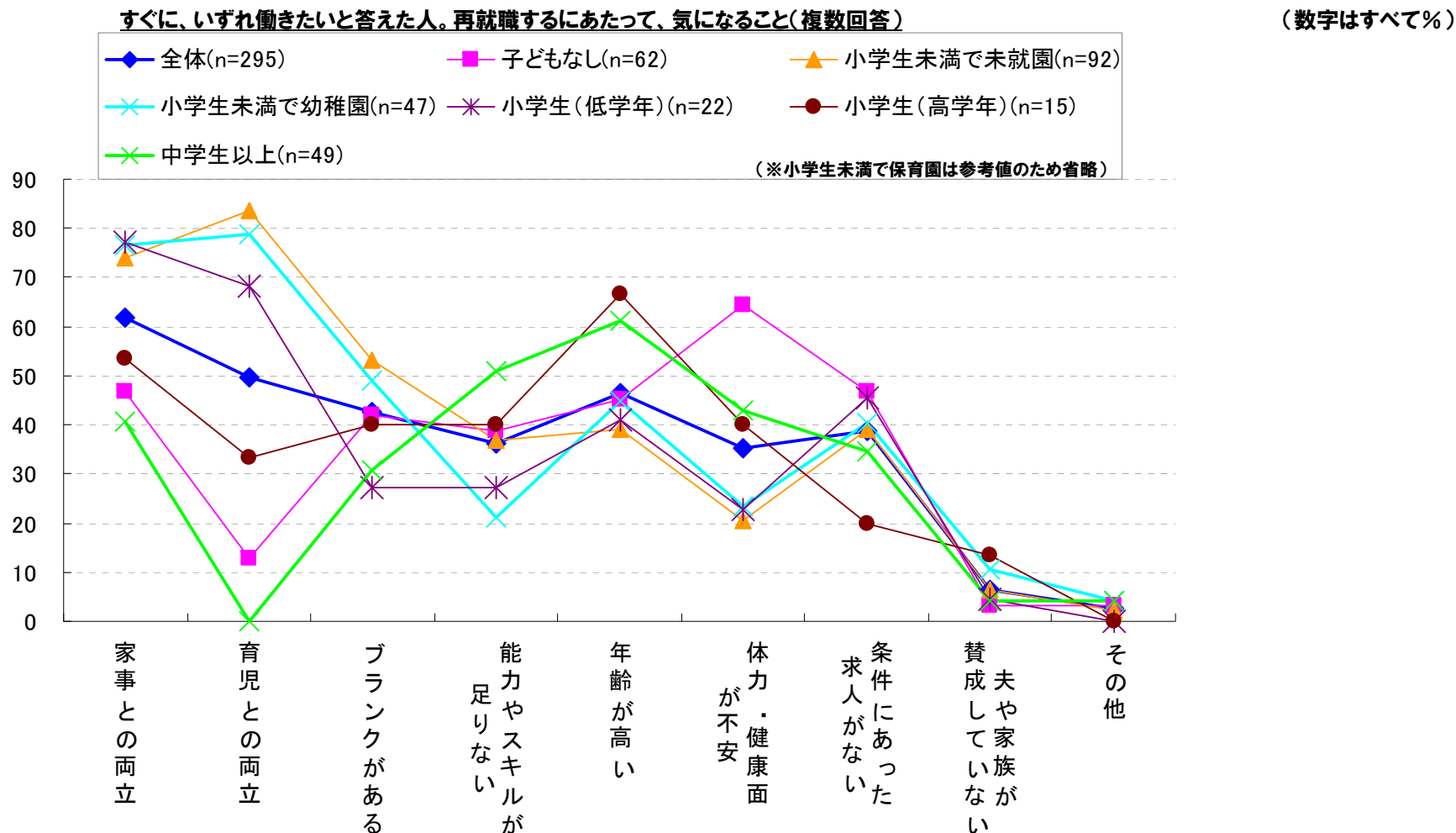
すぐに、いずれ働きたいと答えた人へ。あなたが希望する働き方は？

(※小学生未満で保育園は参考値のため省略)



■希望する働き方は、パート・アルバイトが5割～6割

再就職の形は、いずれの層でもパート・アルバイトが半数を超える結果に。正社員など、フルタイム勤務を希望する人はどの層でも、3割に達しなかった。



■子育てから手が離れる頃には、スキルや年齢がネックに

再就職にあたってハードルになることを聞いた。子供が小学生未満・小学校低学年までは「育児との両立」が上位だが、子供が小学校高学年、中学以上になってくると、「能力やスキル不足」「高年齢」といった自身の問題が上位になる。